



第一跨線橋撤去に伴う迂回路安全対策について

令和5年3月18日

芦屋市都市建設部
道路・公園課 工事係



【目次】

1. 第一跨線橋について
2. 撤去に至った経緯
3. 第一跨線橋撤去に伴う迂回路
4. 迂回路安全対策の検討の流れ
5. 迂回路安全対策箇所
6. 安全対策の検討結果
7. 今後のスケジュール
8. 第一跨線橋撤去 事業ステップ

1. 第一跨線橋について

1. 第一跨線橋について

架設年：1926（大正15）年に当時の鉄道省が架設（現在96歳）

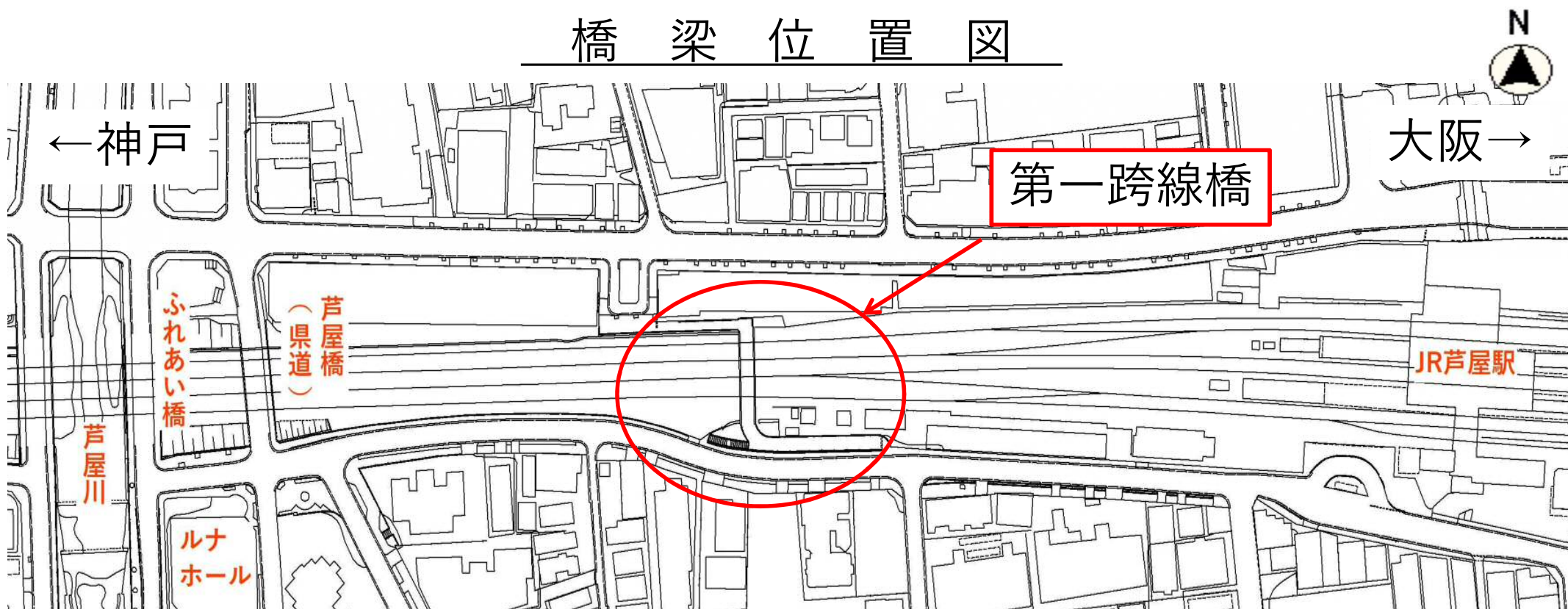
⇒1980（昭和55）年に当時の国鉄から芦屋市へ財産譲渡

利用状況：1日約700人が利用（山手小学校の児童23人が利用）

点検結果：健全性Ⅲ 「早期措置段階」 ⇒対策が必要

※平成30年点検結果

橋梁位置図



1. 第一跨線橋について

【第一跨線橋の主な損傷】

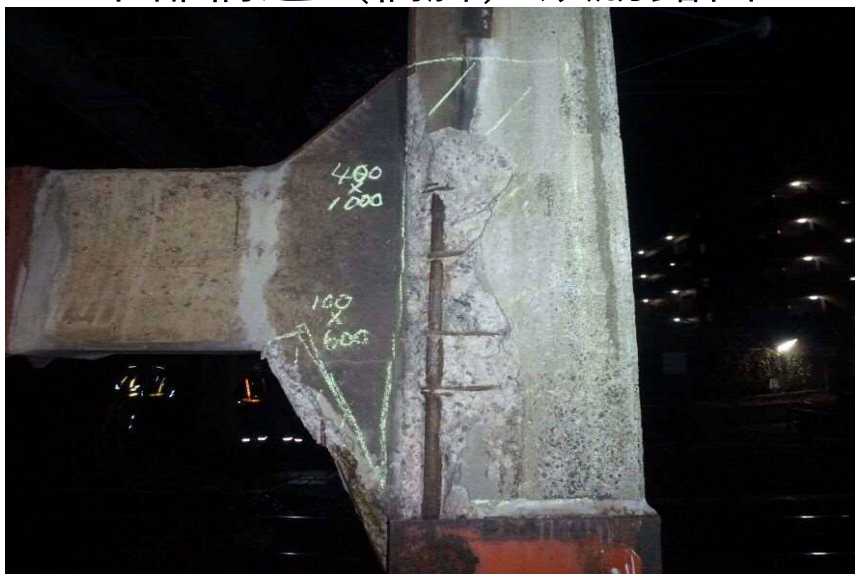
上部構造（主桁）鉄筋露出



上部構造（床版）漏水・遊離石灰



下部構造（橋脚）鉄筋露出



点検結果から、かなり劣化が進んでいる。橋の耐用年数60年※に対して、第一跨線橋は架設から96年が経過しており、耐用年数を大幅に超えている。

※ 減価償却資産の耐用年数等に関する省令

2. 撤去に至った経緯

【第1回住民説明会】

日 時：令和3年3月21日、22日

説明会概要：第一跨線橋の現状の説明を行い、耐用年数や耐震性能を考慮し、第一跨線橋の撤去・迂回路安全対策案を提示。

説明会でいただいた主なご意見

補修や補強で対応できるのでは

撤去ではなく架け替えをしてほしい

地下道という案はないのか

補修と架け替えの費用比較を教えてください



いただいたご意見を検討し、第2回住民説明会を開催

【第2回住民説明会】

日 時：令和3年11月6日

説明会概要：前回の説明会でいただいたご意見をもとに、対策方法として以下の5案を比較検討。

①補修

②補修及び耐震補強

③撤去・新橋架設

④撤去・地下道

⑤撤去・迂回路対策



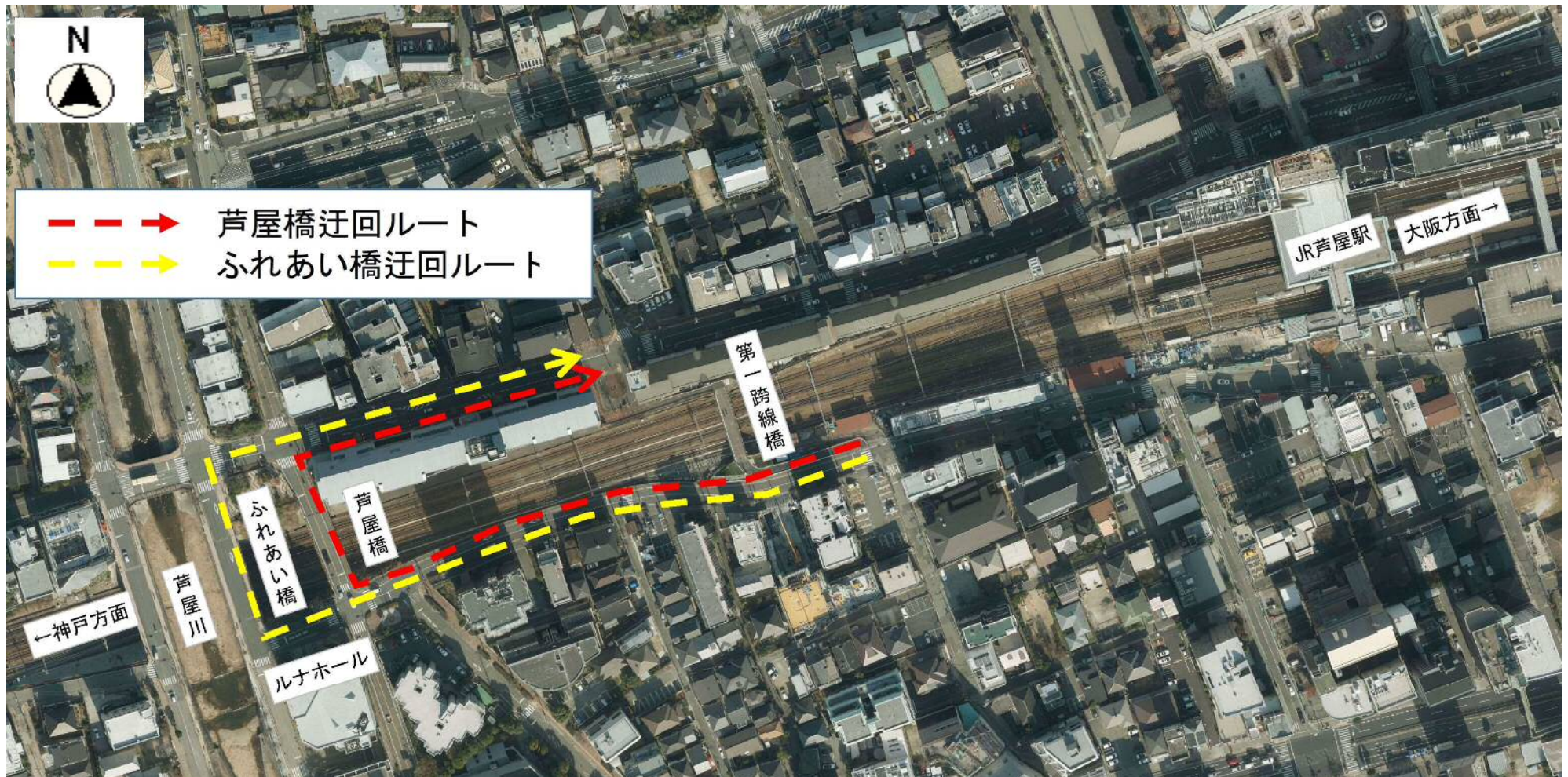
健全性・耐震性・トータルコスト等を比較

総合的に判断し、⑤撤去・迂回路対策を第一跨線橋老朽化対策とする。

3. 第一跨線橋撤去に伴う迂回路

【第一跨線橋撤去に伴う迂回路】

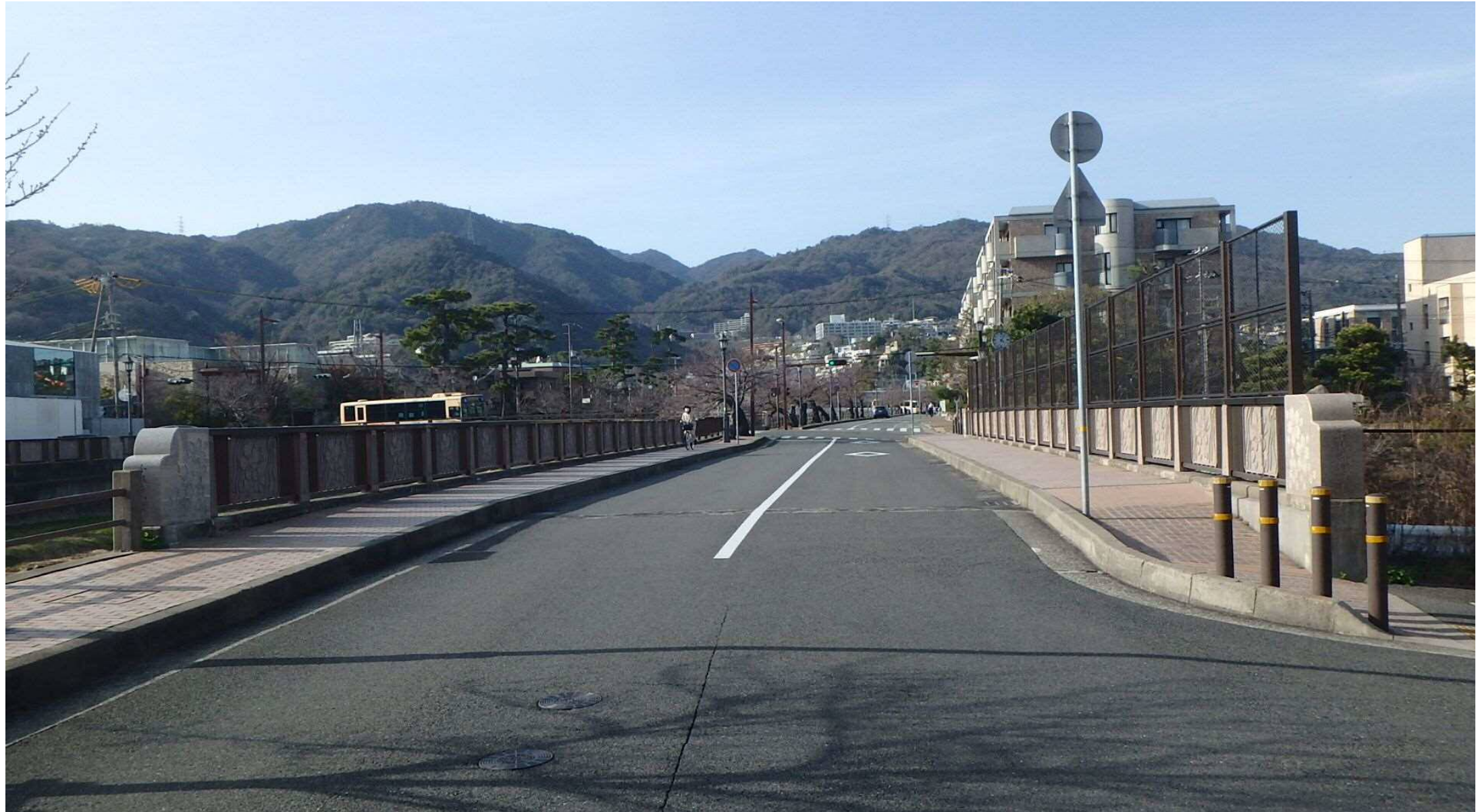
- ・ 第一跨線橋撤去後は芦屋橋またはふれあい橋を迂回路とする。
- ・ 第一跨線橋は通学路に指定⇒学校関係者と協議し、通学路を変更する。
- ・ 通学路となっているため、迂回路には必要な安全対策を行う。



芦屋橋（県道）



ふれあい橋（市道）

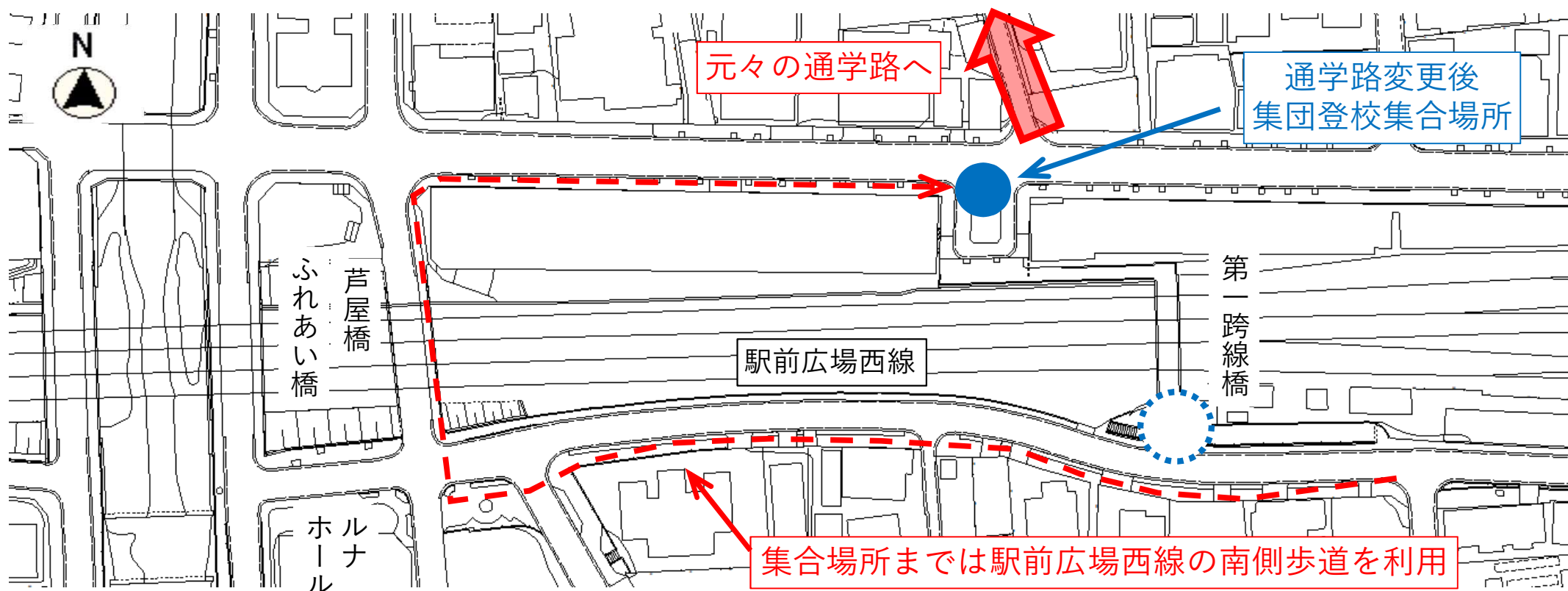


3. 第一跨線橋撤去に伴う迂回路

【変更後の通学路】

第一跨線橋撤去後の通学路（案）は、教育委員会・山手小学校PTA・青少年育成愛護委員会（以下「学校関係者」という）との協議の結果、以下のとおりとなった。

変更後通学路（案）



※第一跨線橋東側から通学する児童は集合場所までは「JR芦屋駅」やJR芦屋駅東の「夢中トンネル」を利用することも想定される。





4. 迂回路安全対策の検討の流れ

4. 迂回路安全対策の検討の流れ

迂回路に必要な安全対策の検討は以下のフローにて実施。

- ① 令和3年12月4日に身体障害者福祉協会理事会（以下「福祉協会」という）にて、第一跨線橋撤去の方針を説明。その際に迂回路に対する懸念事項の意見をいただく。
- ② 地域・学校関係者・関係機関と実際に迂回路を歩く「まち歩き」を行い、安全に対するハード面及びソフト面の問題点について意見をいただき、共有。
- ③ いただいた意見や共有した問題点について、市で精査及び関係機関と協議を実施し、対策内容を整理する。
- ④ 通学路が変更となるため、整理した対策内容について、学校関係者と協議し、安全対策の考え方を共有。（令和4年3月4日実施）

4. 迂回路安全対策の検討の流れ

- ⑤ 学校関係者と共有した対策内容について、福祉協会と協議し、安全対策の考え方を共有。（令和4年3月5日実施）

- ⑥ 第3回住民説明会（前回説明会）にて対策内容を説明し、地域の皆様から意見をいただく（令和4年3月19日実施）

- ⑦ 対策内容の決定後、関係機関との協議や設計を行い、各対策内容に対して詳細な検討を実施。

- ⑧ 検討結果を福祉協会と学校関係者へ報告し、意見をいただく。（令和5年3月4日、10日実施）


第4回住民説明会にて検討結果を報告し、地域の皆様から意見をいただく

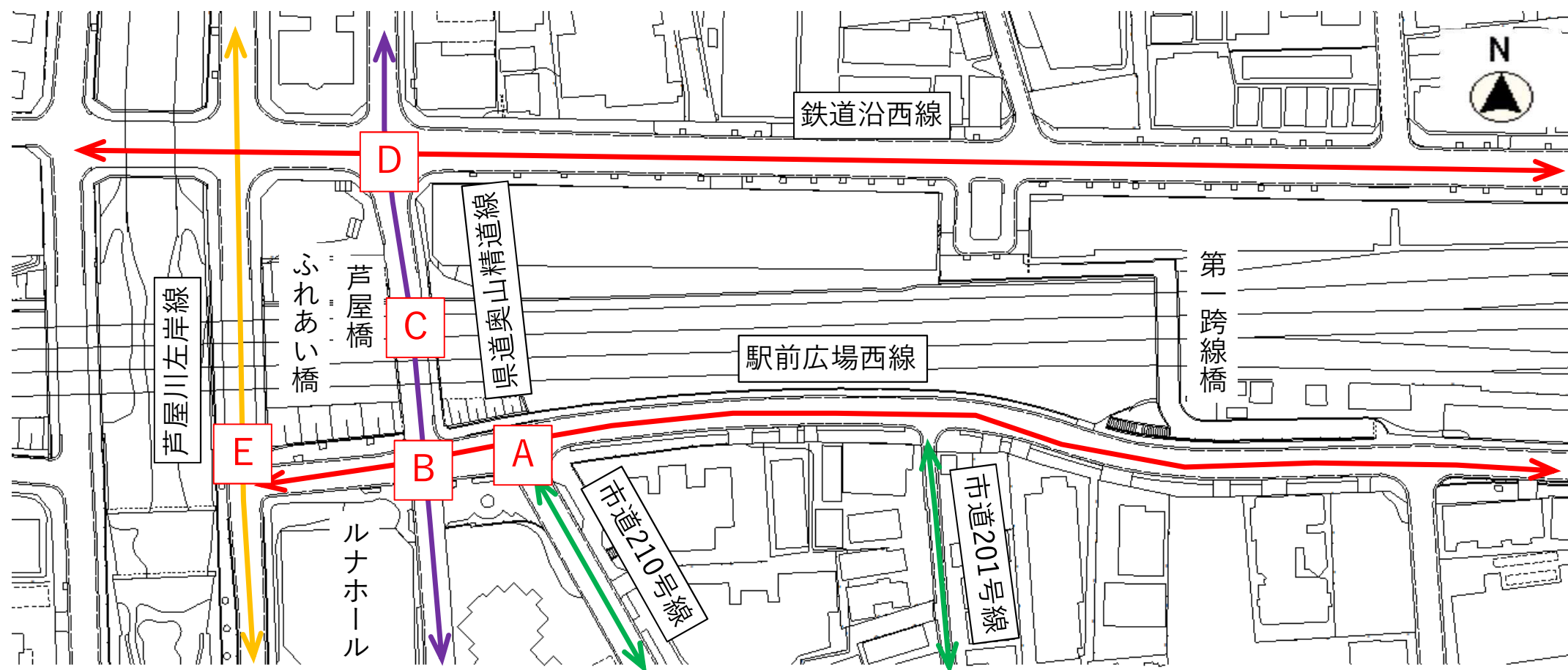
5. 迂回路安全对策箇所

5. 迂回路安全対策箇所

【安全対策の考え方】

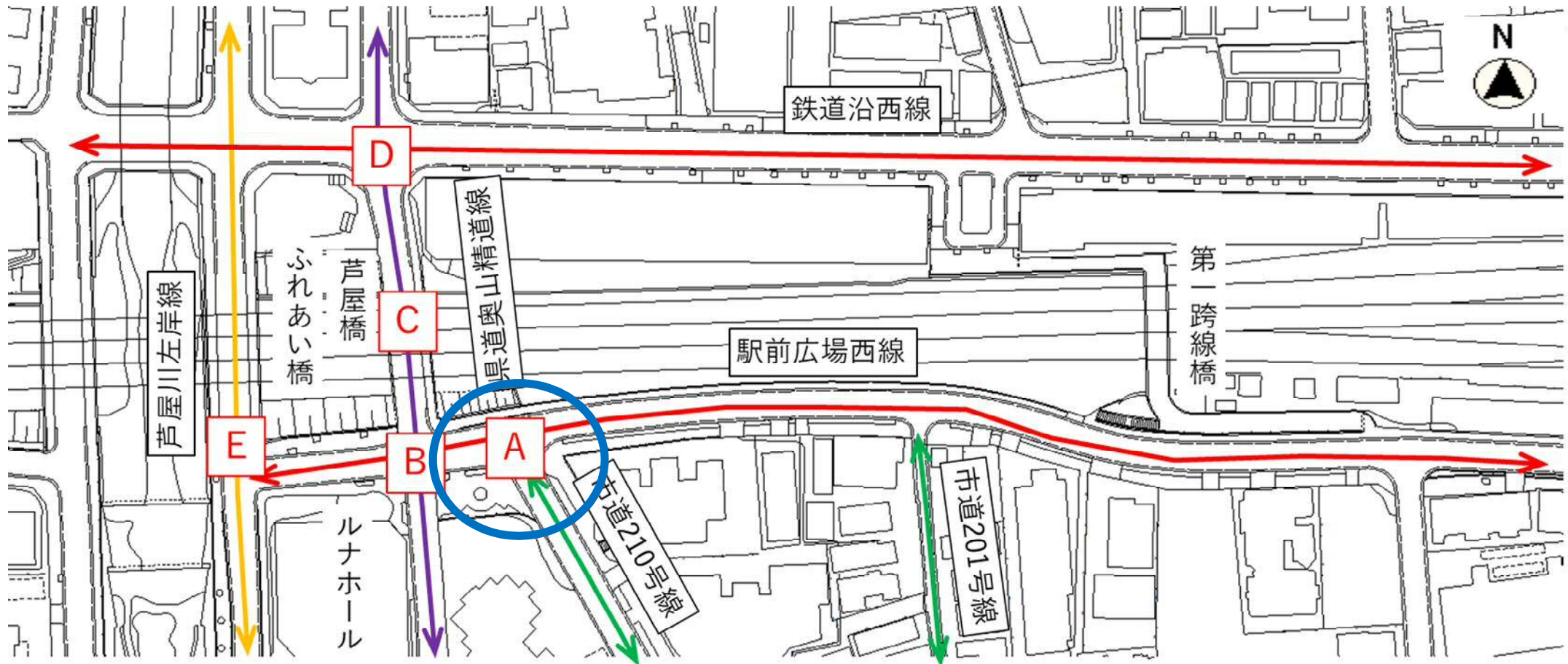
- ①現在の迂回路は、道路の構造上安全であることを前提
- ②福祉協会からのご意見や、通学路変更に伴う学校関係者との協議結果
- ③迂回路の安全に関する点検（まち歩き）を実施した結果

上記を踏まえ、下図のA～Eの箇所で安全対策を実施する方針とする。



6. 安全対策の検討結果

【A.駅前広場西線×市道210号線の交差点】



①～②の懸念事項

《懸念事項》

- ①信号がない
- ②駅前広場西線から市道210号線へ右折する車の対策が必要



①信号がない

対策方針 歩行者用信号がないため、芦屋警察へ歩行者用信号の設置を要望する。

協議先 芦屋警察

検討結果 協議の結果、当該箇所に歩行者用信号を設置することは難しい。

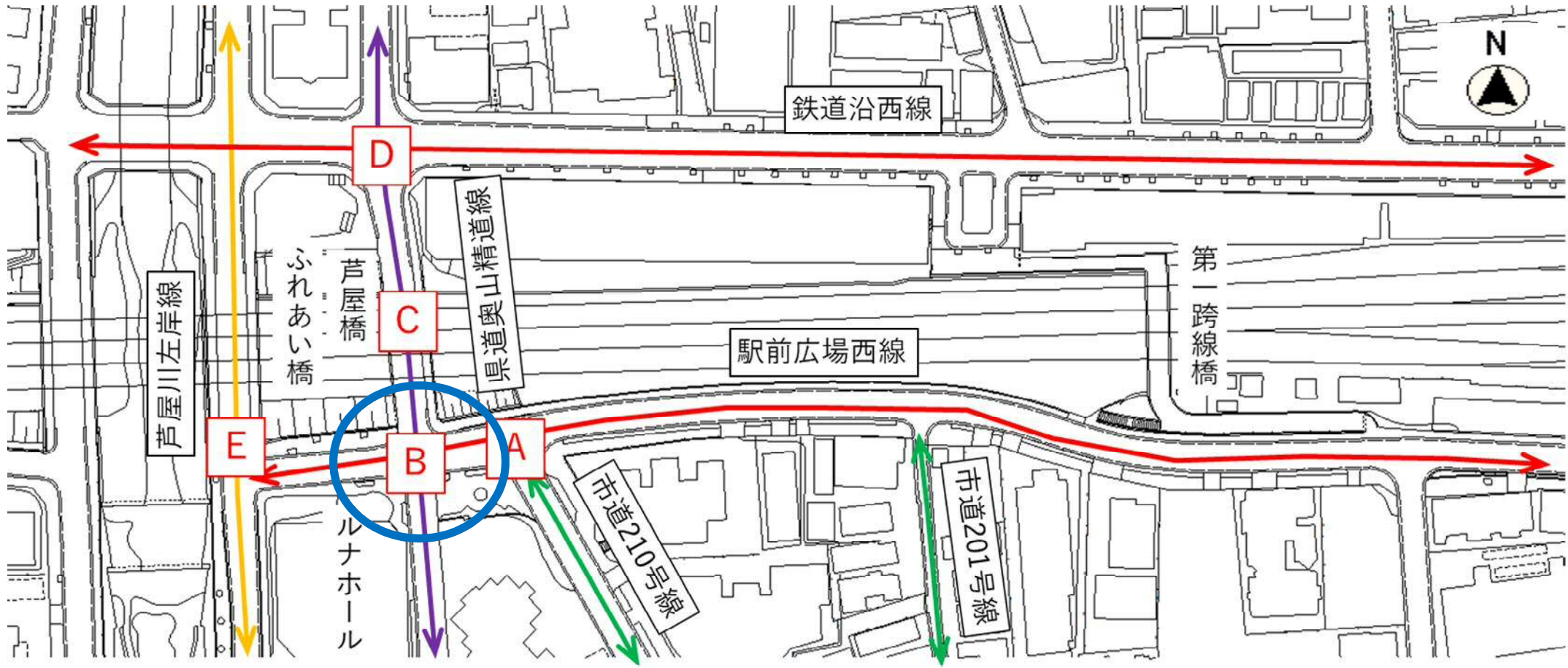
②駅前広場西線から市道210号線へ右折する車の対策が必要

対策方針 右折を規制できれば、横断歩道の安全性がさらに高まるため、右折禁止の規制を芦屋警察へ要望する。

協議先 芦屋警察

検討結果 協議の結果、右折禁止の規制を実施することは難しい。

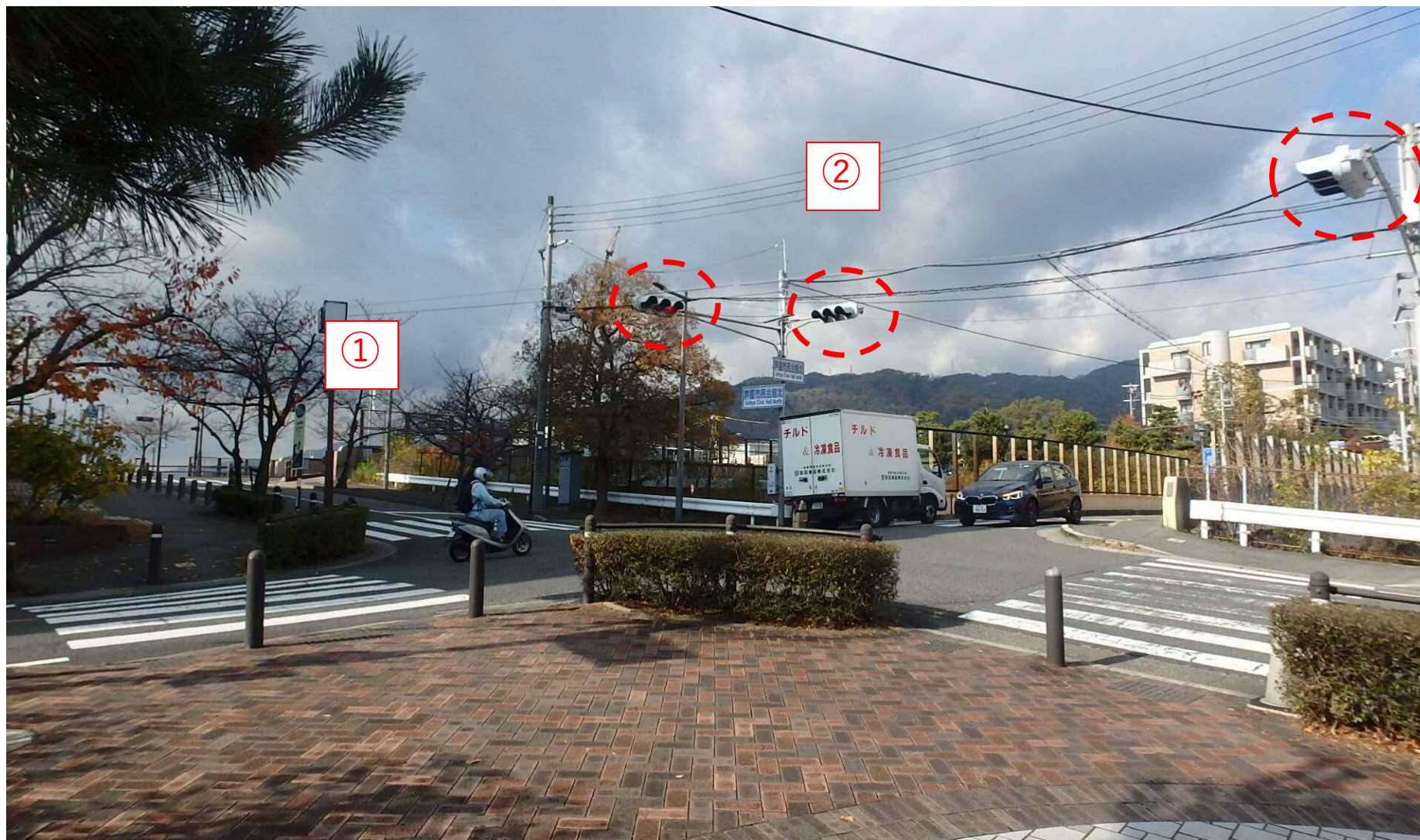
【B.駅前広場西線×県道奥山精道線の交差点】



①～⑤の懸念事項

《懸念事項》

- ①歩行者用信号がない、車両用信号に気付かず横断してしまう
- ②車両用信号が見えにくい



- ①歩行者用信号がない、車両用信号に気付かず横断してしまう
- ②車両用信号が見えにくい

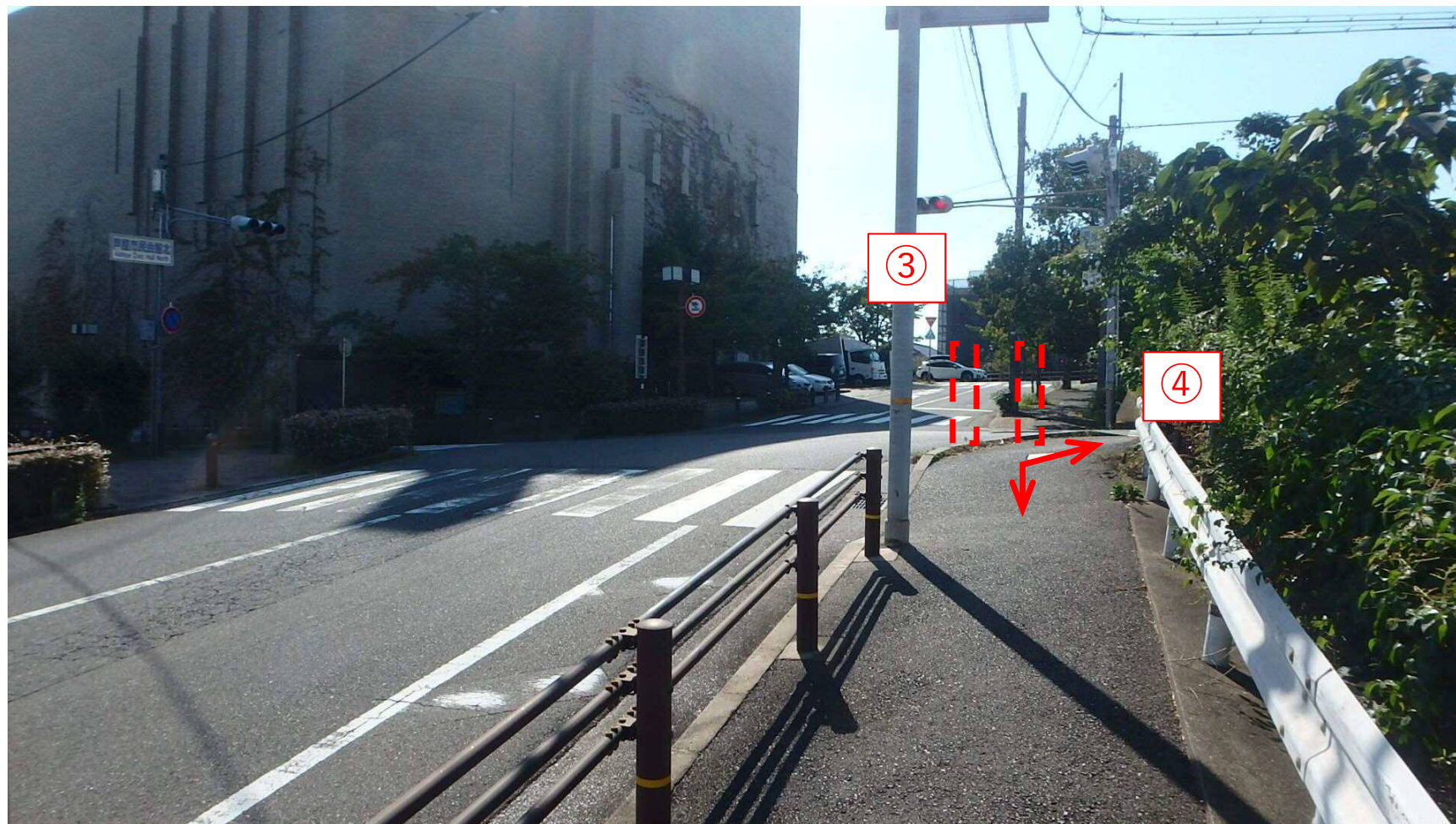
対策方針 歩行者用信号がないため、芦屋警察へ歩行者用信号の設置を要望する。

協議先 芦屋警察

検討結果 歩行者用信号の設置について、協議中。

《懸念事項》

- ③交差点北東での信号待ち時の車の衝突対策が必要
- ④交差点北東の歩道が一部急勾配となっている



③交差点北東での信号待ち時の車の衝突対策が必要

対策方針 車止めを設置し、車の侵入や衝突に対する安全性を高める。

協議先 兵庫県西宮土木事務所

《車止め参考》



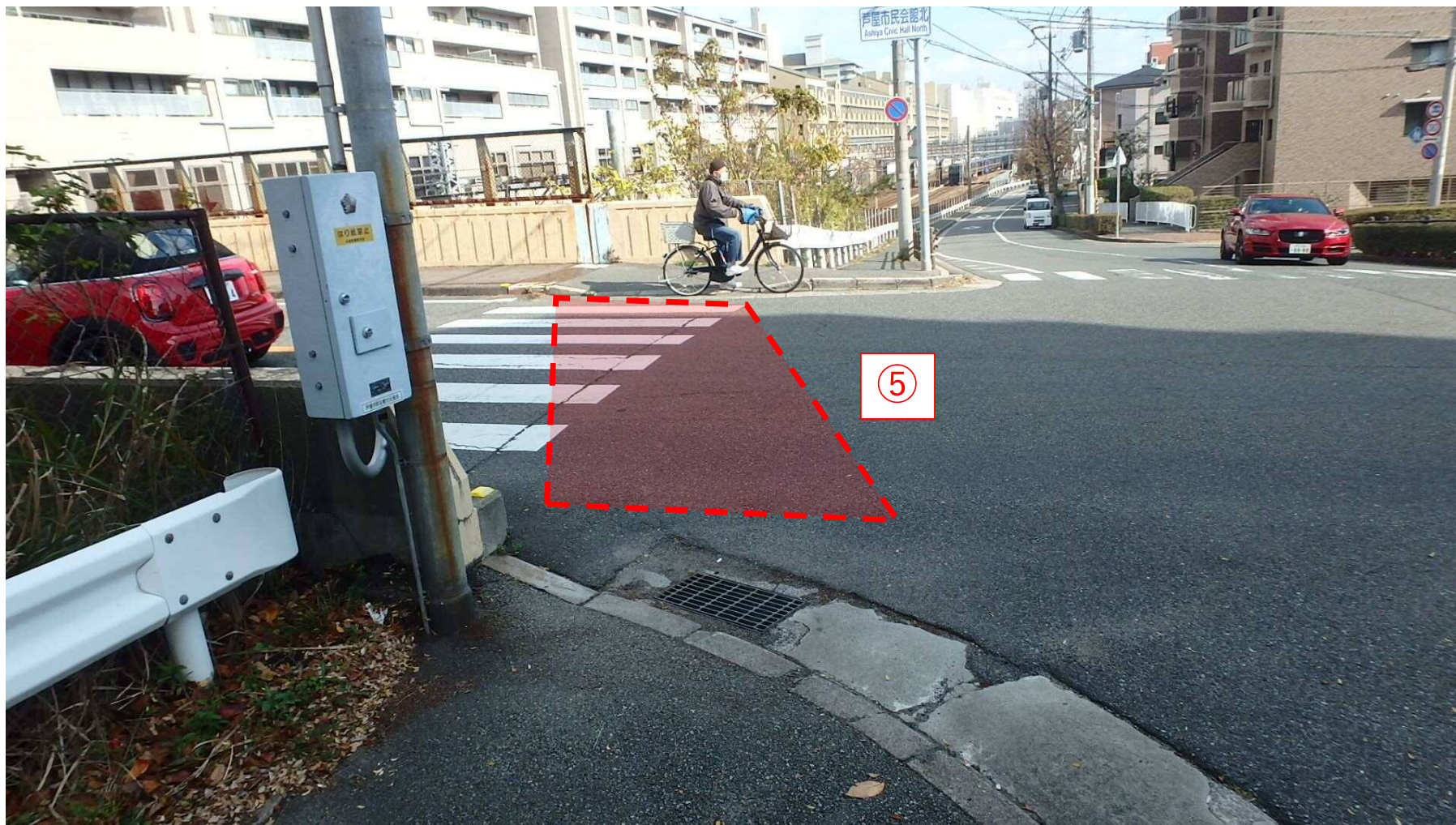
④交差点北東の歩道が一部急勾配となっている

対策方針 部分的に急勾配になっている舗装を改修し、勾配を緩くする。

協議先 兵庫県西宮土木事務所

《懸念事項》

- ⑤交差点北側の東西方向に設置してある横断歩道が西側歩道に接続されていない（行き止まりとなっている）



⑤交差点北側の東西方向に設置してある横断歩道が西側歩道に接続されていない（行き止まりとなっている）

対策方針 区画線を塗直し西側歩道へと接続する。

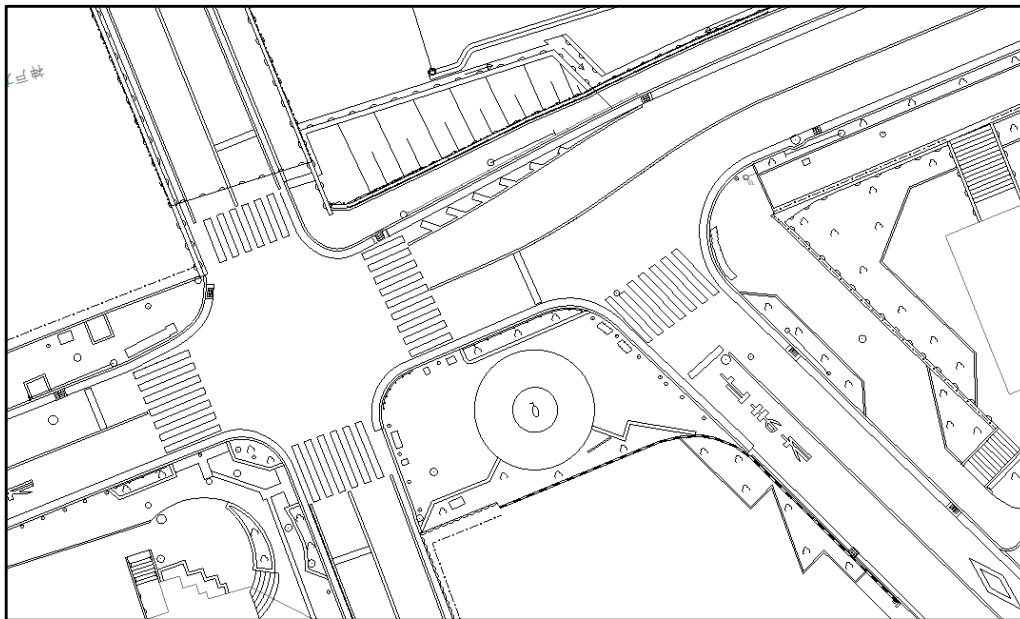
協議先 芦屋警察・兵庫県西宮土木事務所

検討結果

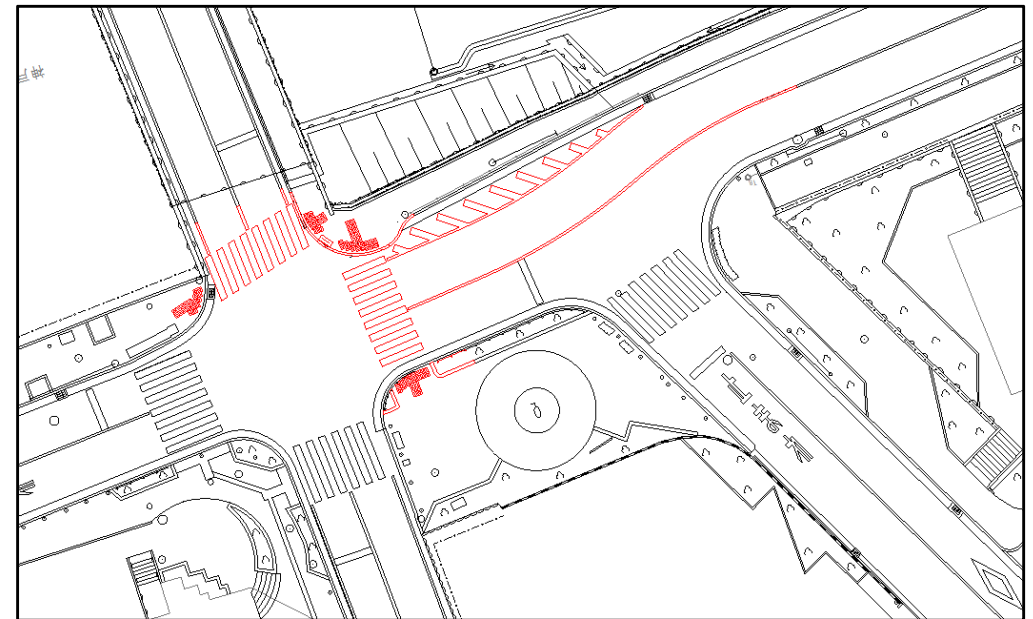
- ③交差点北東での信号待ち時の車の衝突対策が必要
- ④交差点北東の歩道が一部急勾配となっている
- ⑤交差点北側の東西方向に設置してある横断歩道が西側歩道に接続されていない（行き止まりとなっている）

【対策イメージ図※赤線が変更箇所】

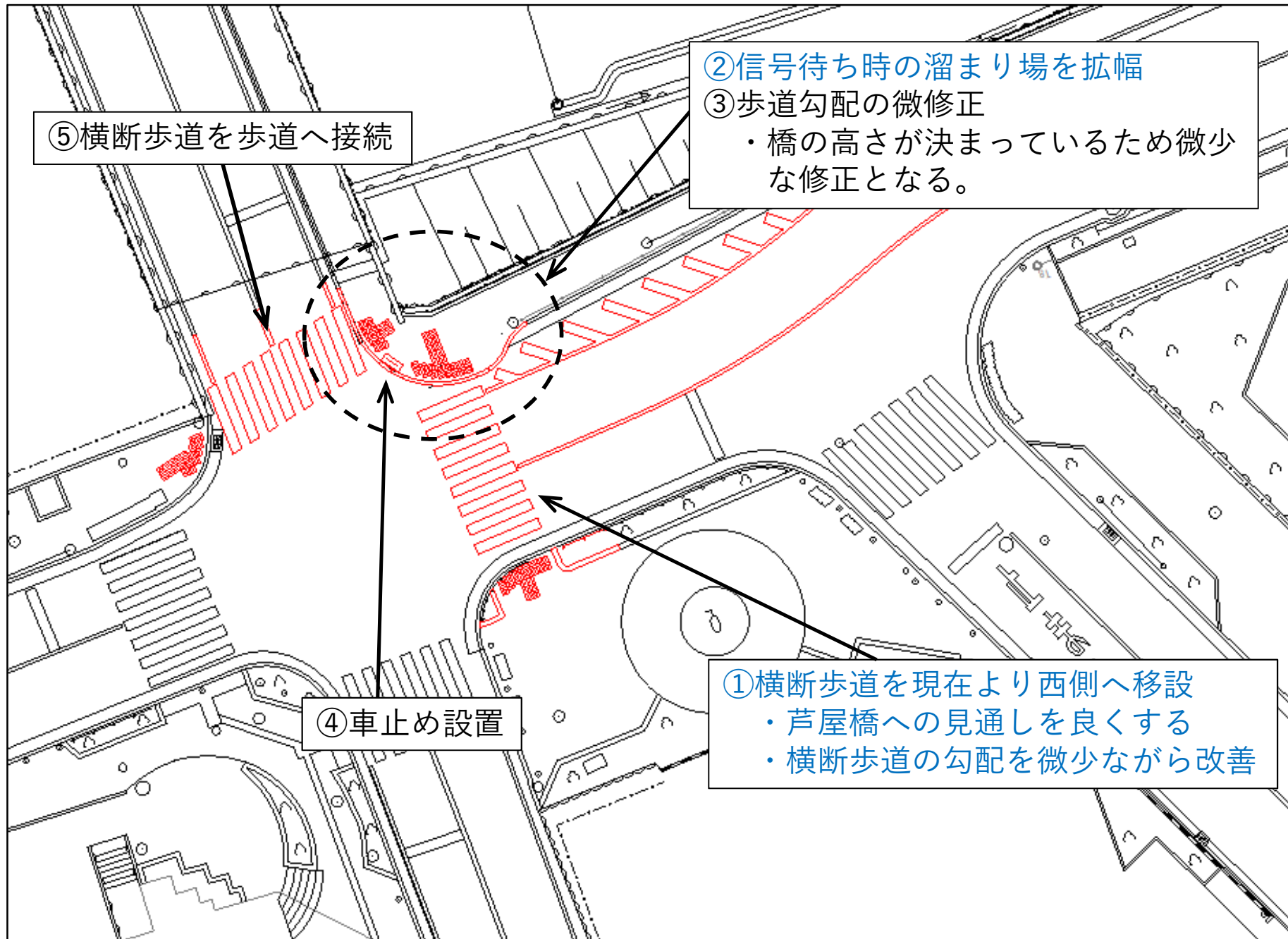
対策前

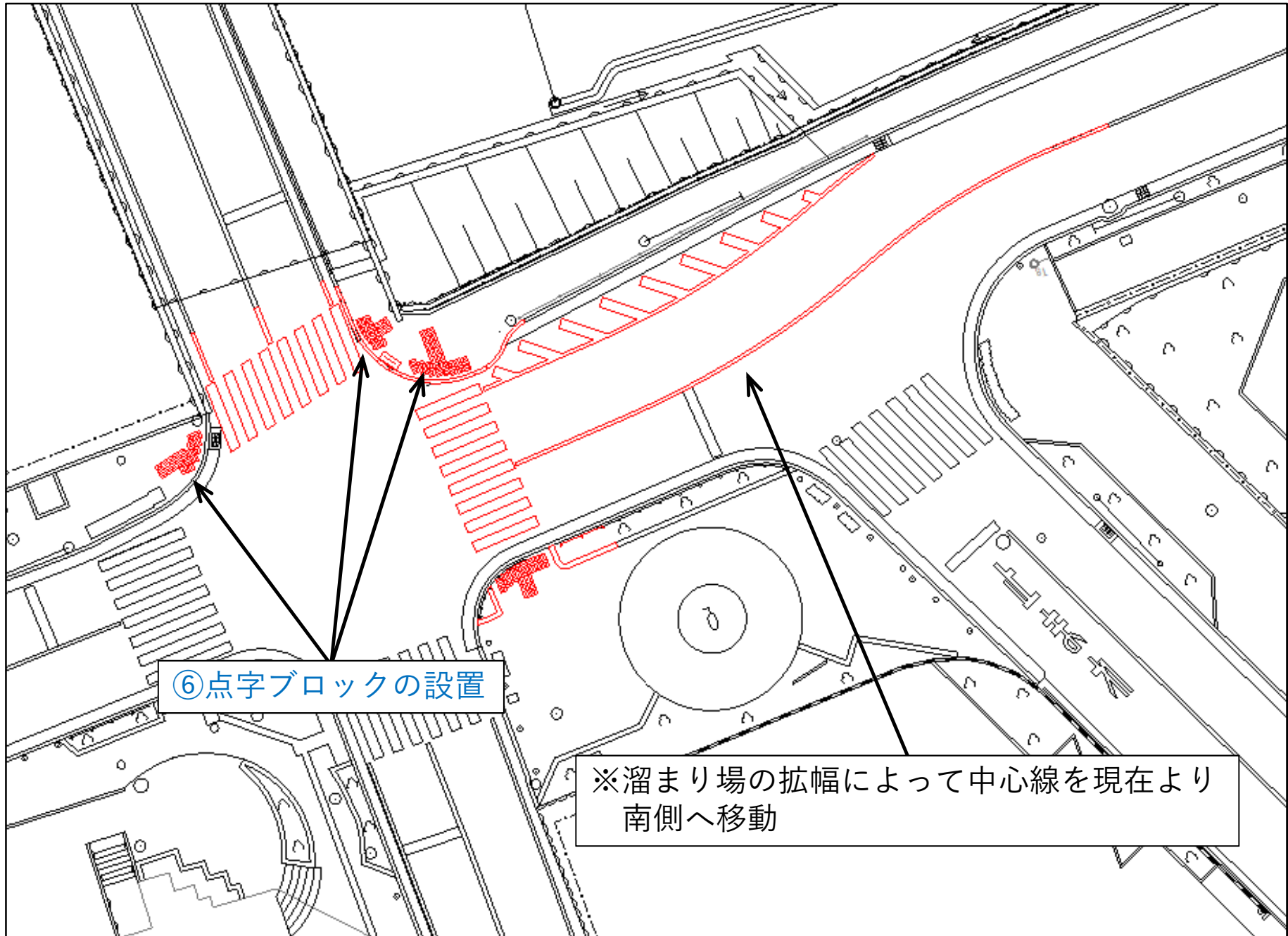


対策後

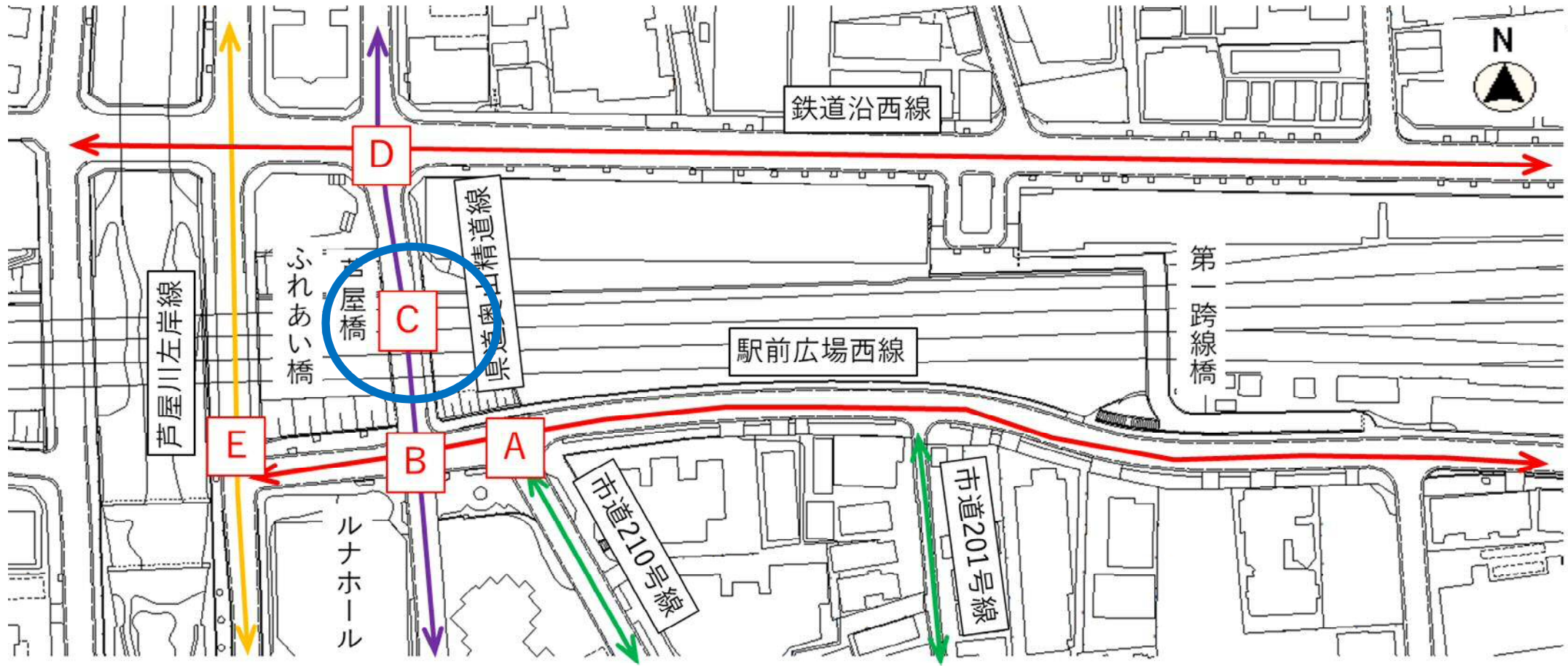


交差点を改良することによって安全性を向上させる。





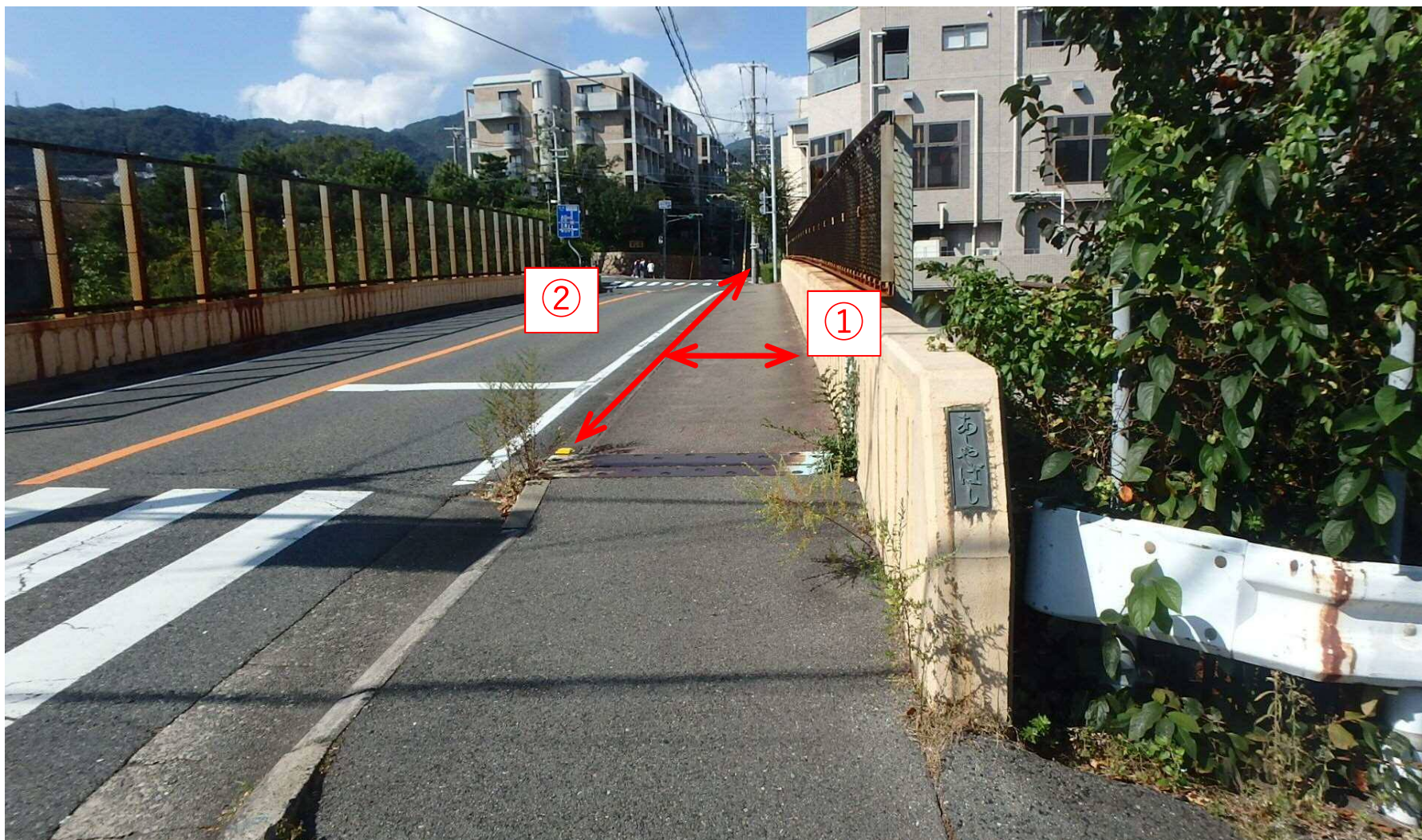
【C. 県道奥山精道線（駅前広場西線交差点～鉄道沿西線交差点）】



①～②の懸念事項

《懸念事項》

- ①自転車とのすれ違いが危険
- ②子供が車道へはみ出す



①自転車とのすれ違いが危険

対策方針

自転車とのすれ違いを安全に行うため、**啓発看板を設置し**、自転車通行者に注意喚起を行う。

協議先

芦屋警察・兵庫県西宮土木事務所

検討結果

協議の結果、啓発看板の設置は可能。
⇒看板の設置箇所（地上または路面表示）について検討中

②子供が車道へはみ出す

対策方針

子供が車道へ飛び出さないよう横断防止柵を設置。

協議先 兵庫県西宮土木事務所

検討結果

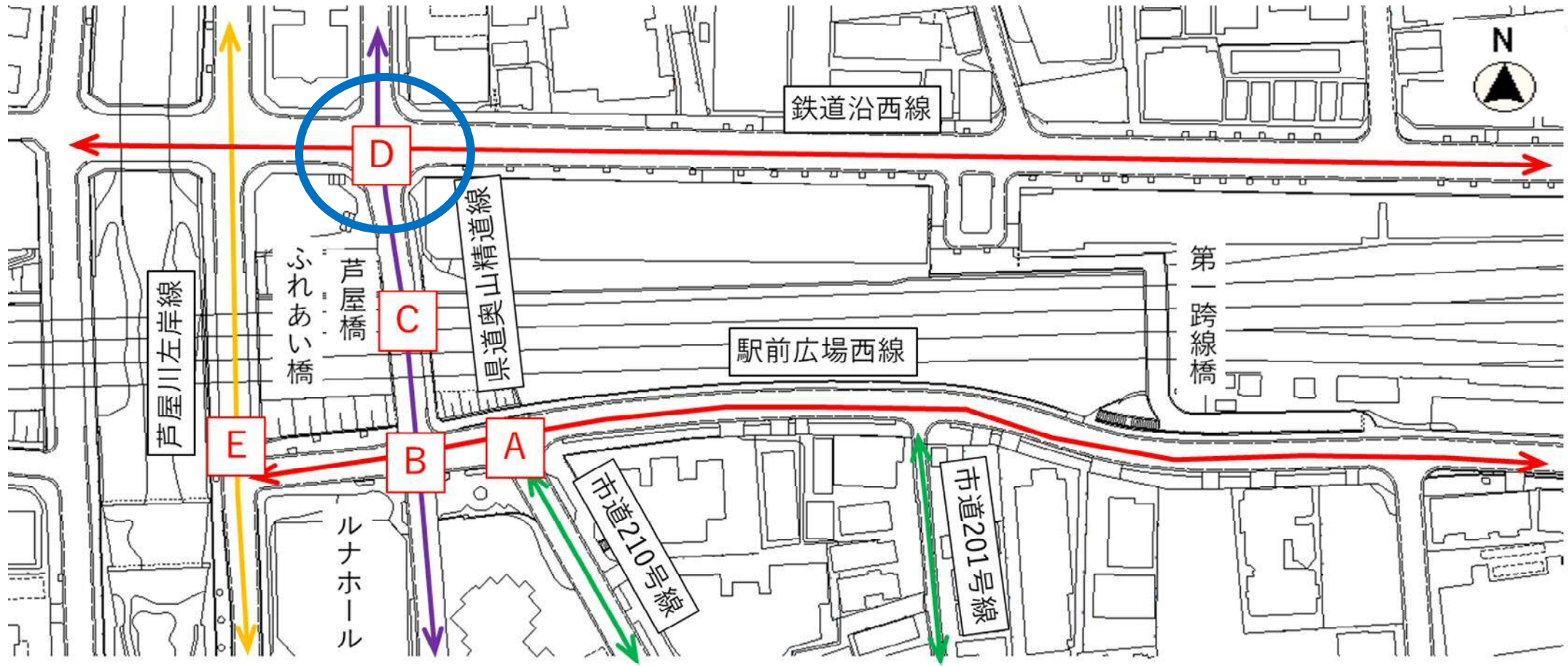
横断防止柵の設置について、県道管理者である西宮土木事務所と協議完了。
右図の矢印箇所を設置することで詳細設計は概ね完了。



《横断防止柵参考》



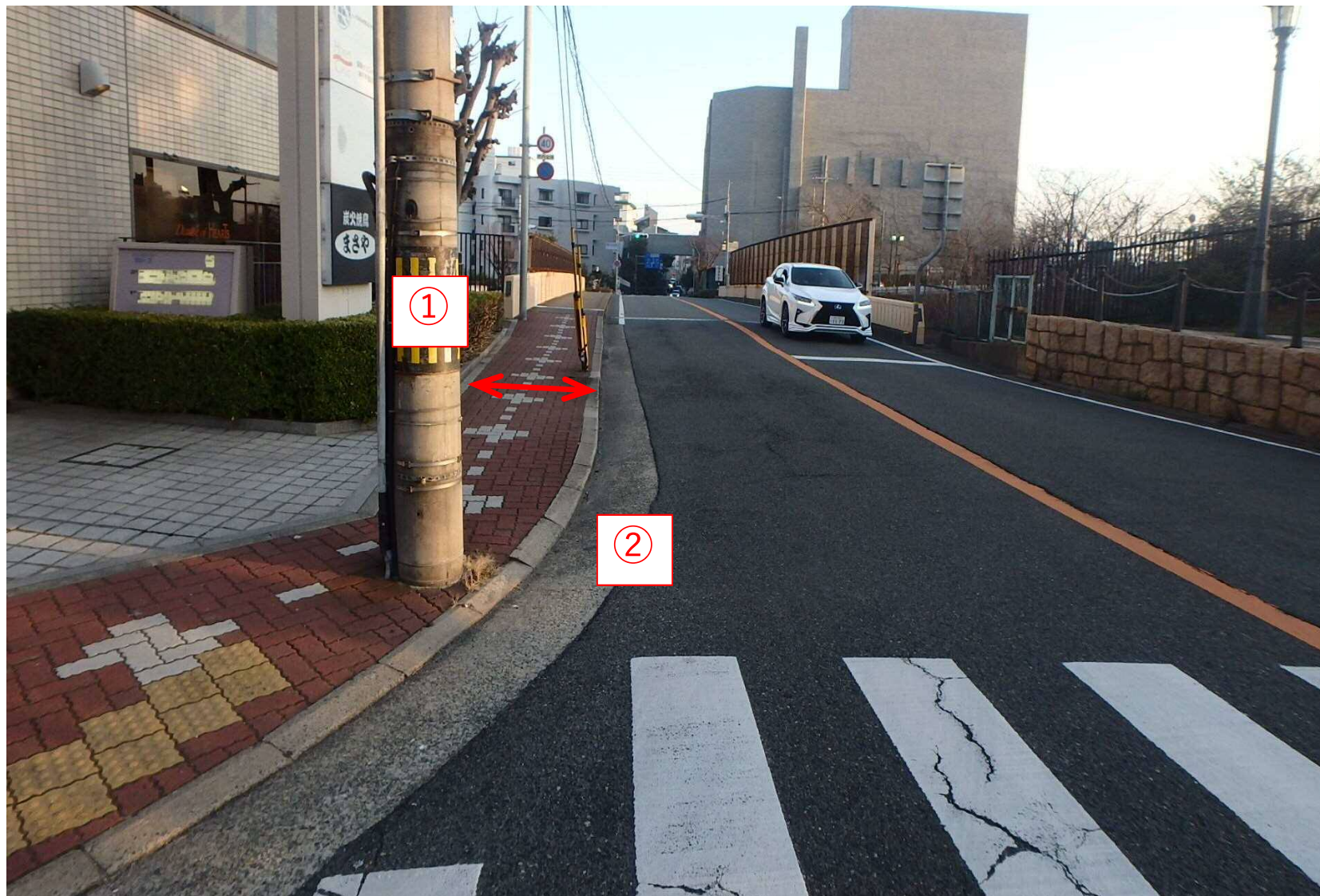
【D.鉄道沿西線×県道奥山精道線の交差点】



①～③の懸念事項

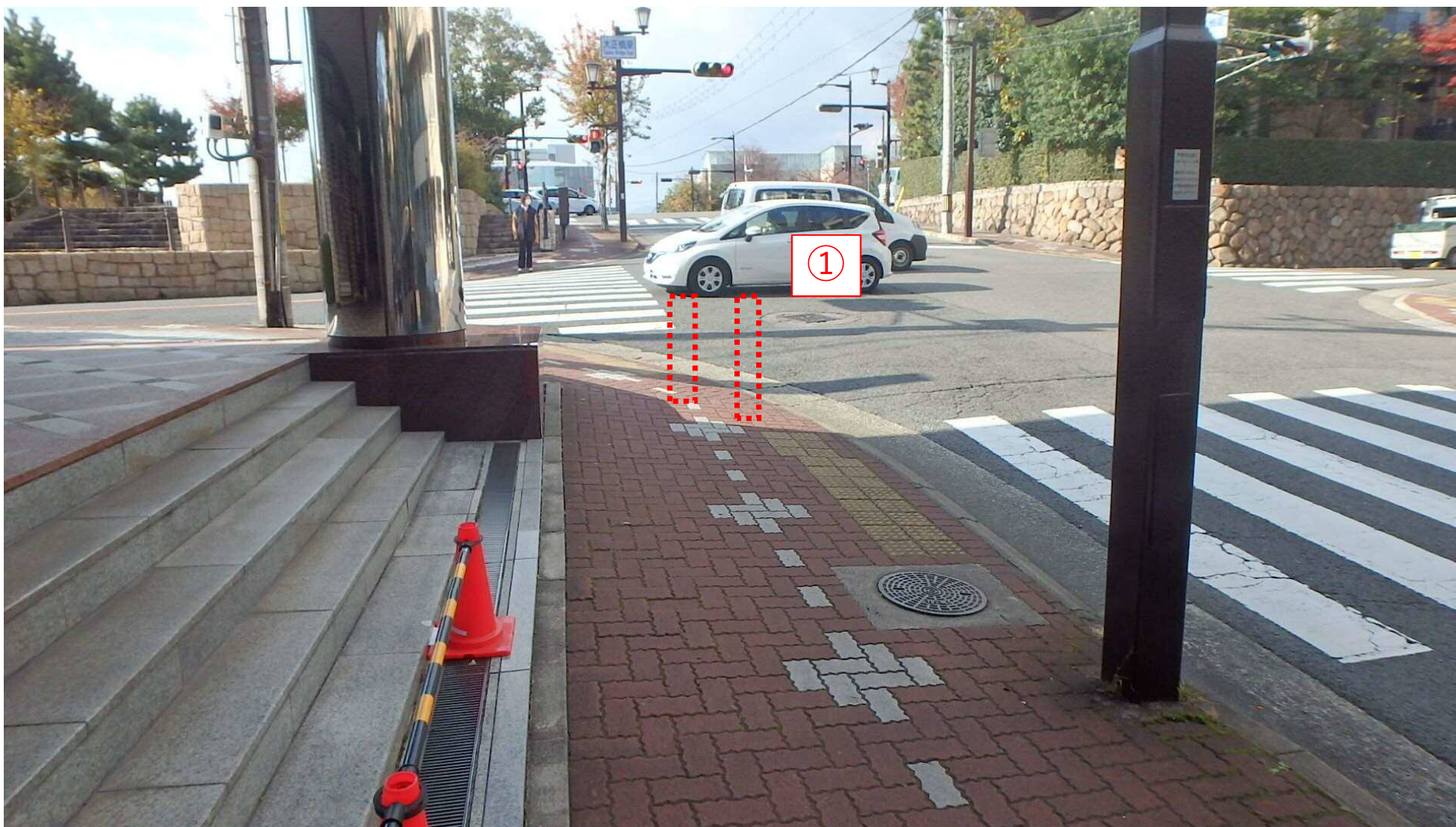
《懸念事項》

- ① 自転車とのすれ違いが危険なので啓発が必要
- ② 芦屋橋北の一部の歩道が狭くなっている



《懸念事項》

③交差点南東での信号待ち時の車の衝突対策が必要



①自転車とのすれ違いが危険なので啓発が必要

対策方針 自転車とのすれ違いを安全に行うため、**啓発看板を設置**し、自転車通行者に注意喚起を行う。

協議先 芦屋警察・兵庫県西宮土木事務所

検討結果 協議の結果、啓発看板の設置は可能。
⇒看板の設置箇所（地上または路面表示）について検討中

②芦屋橋北の一部の歩道が狭くなっている

対策方針 歩道の拡幅

協議先 芦屋警察・兵庫県西宮土木事務所

③交差点南東の信号待ち時の車の衝突対策が必要

対策方針 車止めを設置し、車の侵入や衝突に対する安全性を高める。

協議先 兵庫県西宮土木事務所

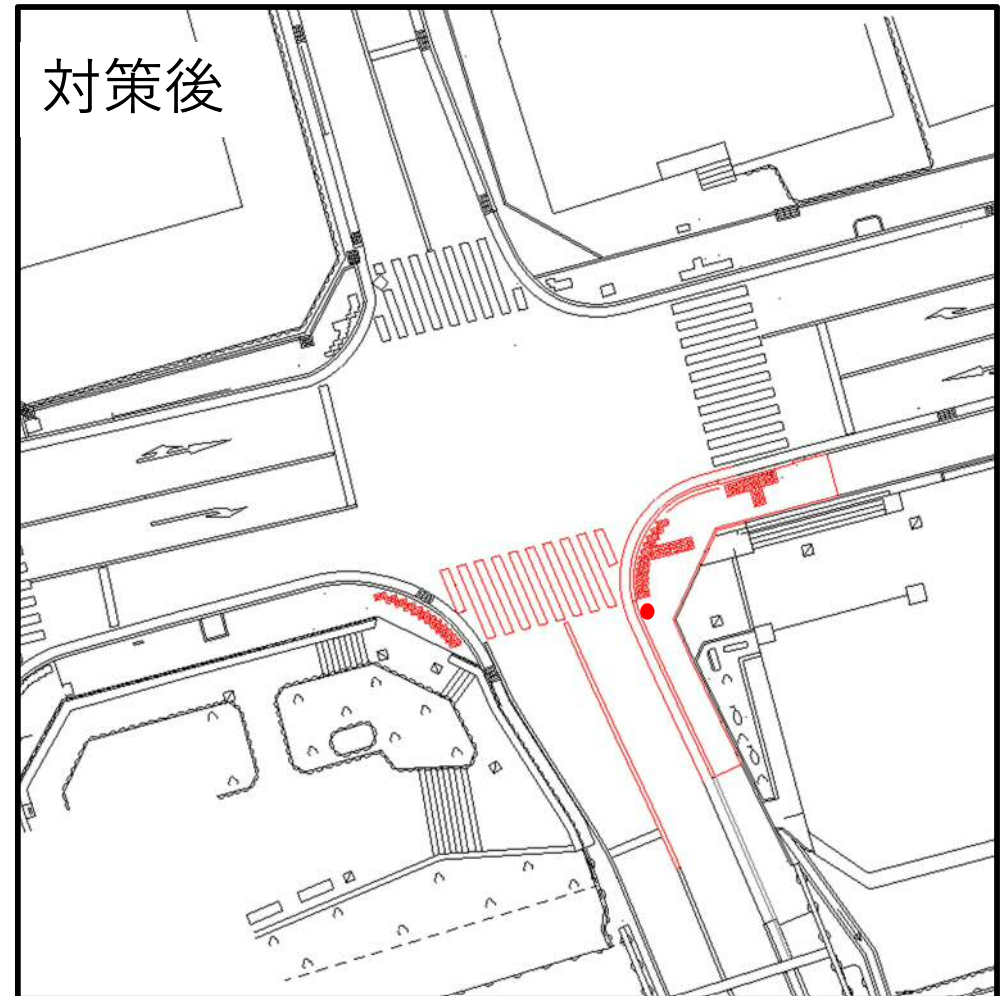
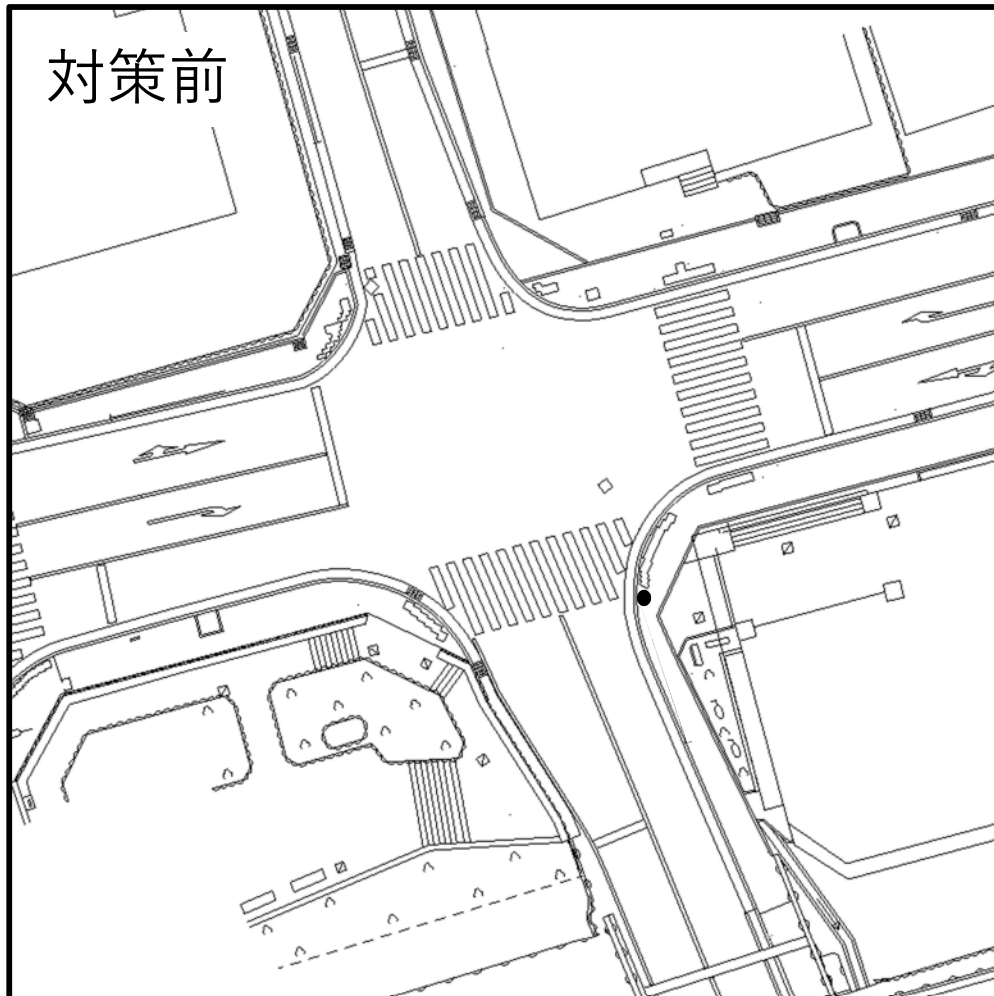
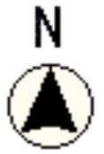
《車止め参考》



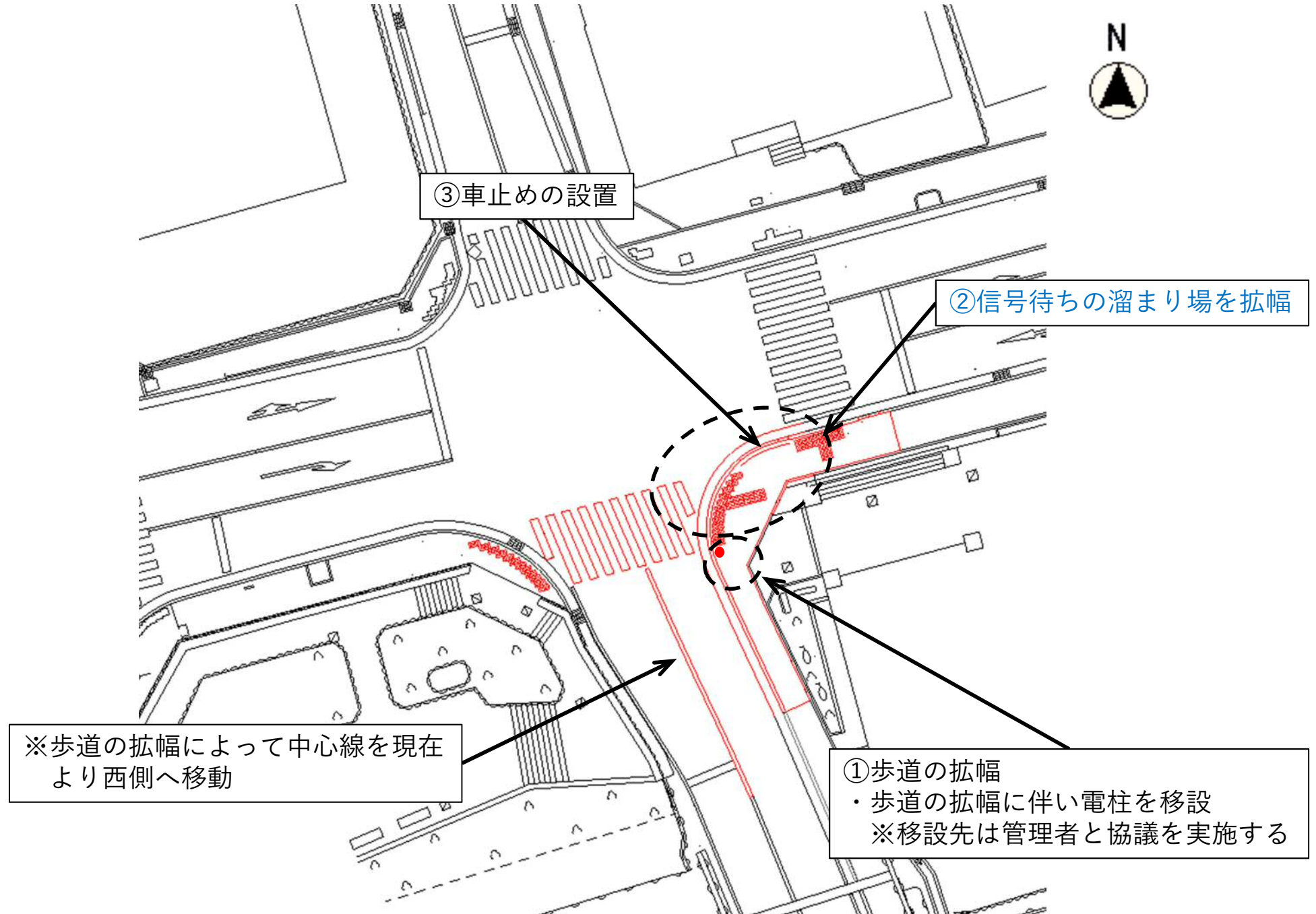
検討結果

- ② 芦屋橋北の一部の歩道が狭くなっている
- ③ 交差点南東の信号待ち時の車の衝突対策が必要

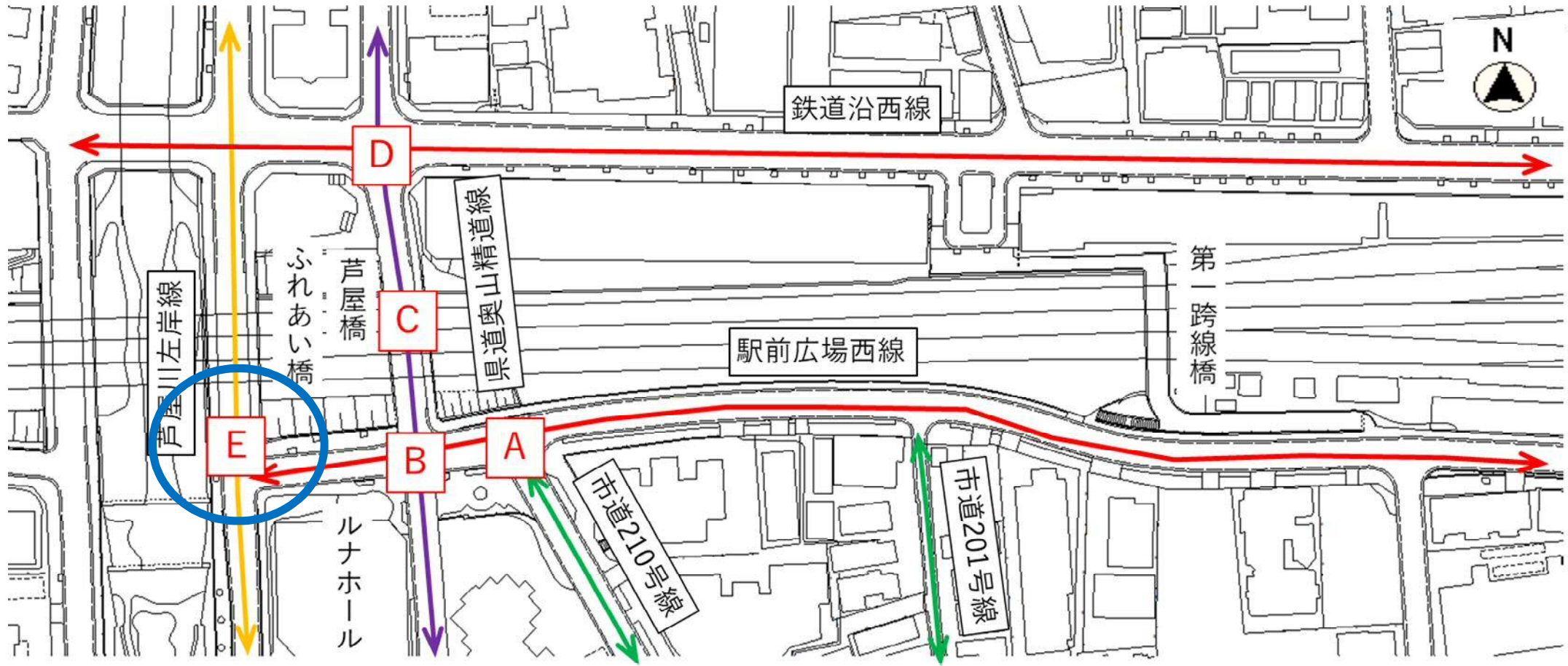
【対策イメージ図※赤線が変更箇所】



交差点を改良することによって安全性を向上させる。



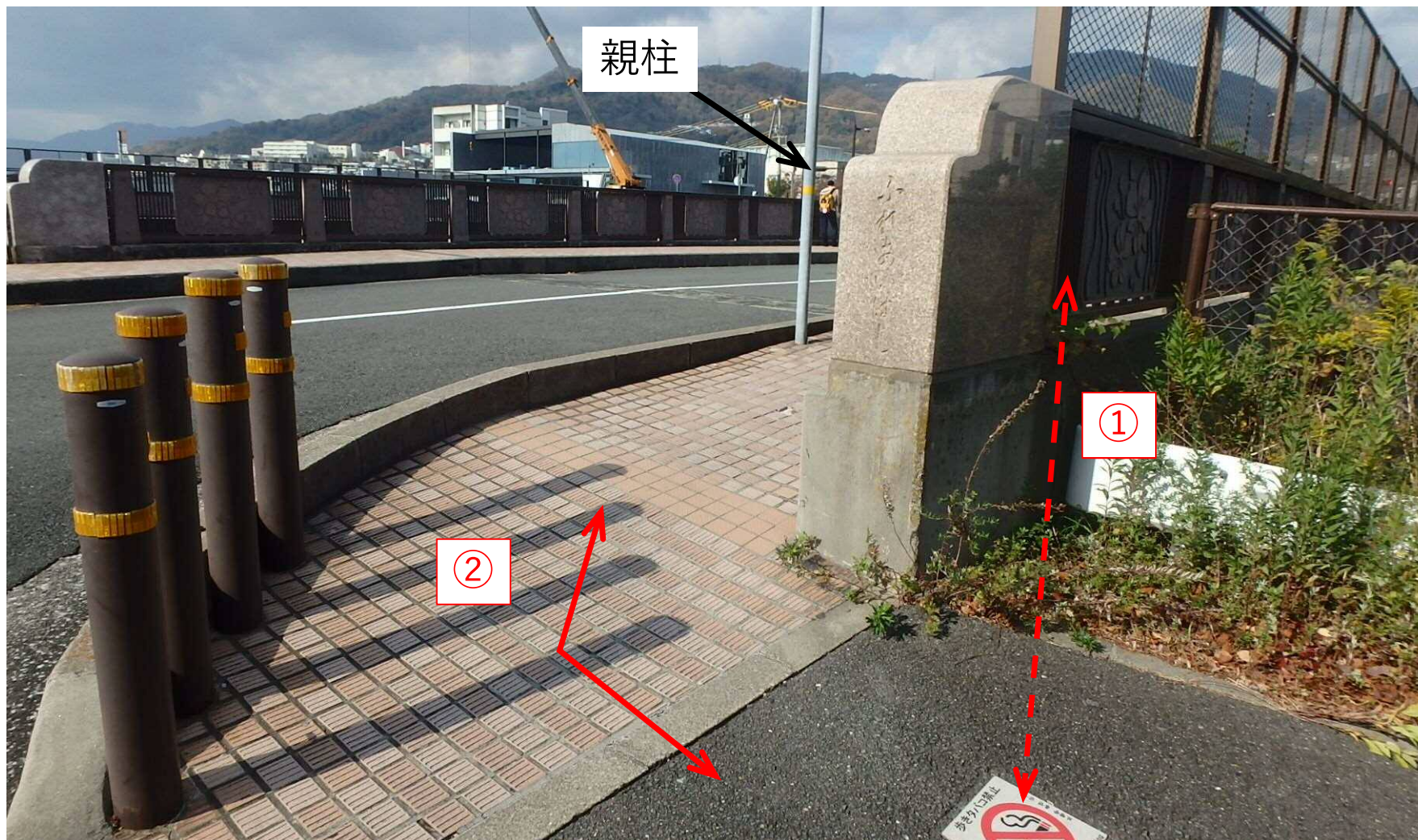
【E.駅前広場西線×芦屋川左岸線の交差点】



①～②の懸念事項

《懸念事項》

- ①ふれあい橋への見通しが悪い
- ②交差点北東の歩道が一部急勾配となっている



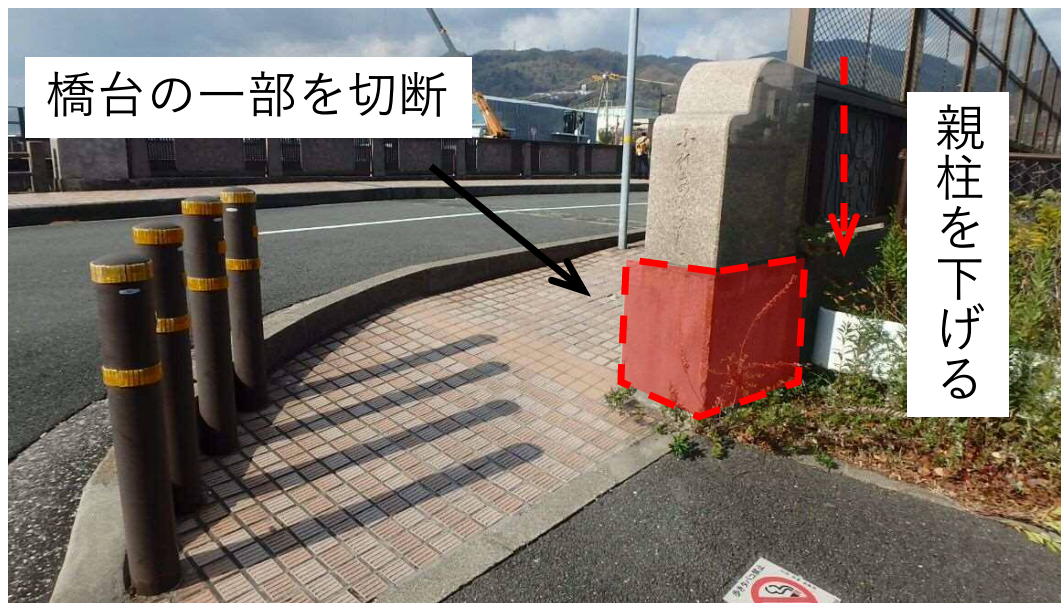
①ふれあい橋への見通しが悪い

対策方針

橋台の一部を切断し、親柱を下げる。また、高欄の一部がパネル状になっているため、見通しの良いものに改修する。

協議先

なし



検討結果

【対策イメージ図】

対策前



対策後

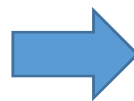
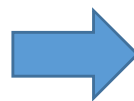
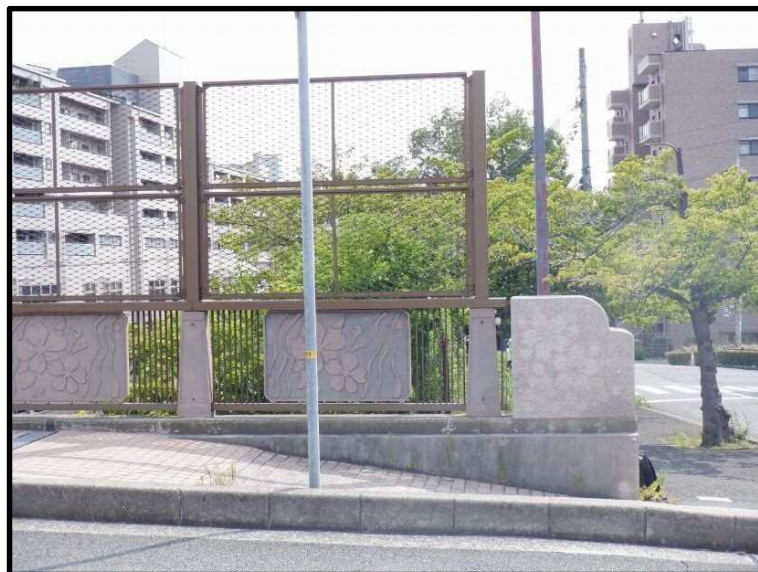


- ①橋台の一部を切断し、親柱を下げることによって見通しを良くする。

対策前

【対策イメージ図】

対策後



②高欄のパネルを撤去し、さらに見通しを良くする。

②交差点北東の歩道が一部急勾配となっている

対策方針 部分的に急勾配になっている舗装を改修し、勾配を緩くする。

協議先 なし

検討結果 歩道舗装の改修を実施するが、橋の高さが決まっているため、微少な改善となる。

箇所	課題	対策内容	備考	
B	歩行者用信号がない	歩行者用信号の設置	芦屋警察・兵庫県警察本部と協議中	
	車両用信号が見えにくい			
	信号待ち時の車の衝突対策	車止めの設置		
	歩道が一部急勾配	歩道舗装の改修		
	横断歩道が歩道に接続されていない	横断歩道を歩道へ接続		交差点改良のため、公安委員会へ意見照会中
	迂回によって歩行者の通行量が増加	信号待ち時の溜まり場拡幅		
	横断歩道先の見通しが悪い	横断歩道の移設		
	横断歩道に点字ブロックがない	点字ブロック設置		
C	自転車とのすれ違いが危険	啓発を実施		
	子供が車道へはみ出す	横断防止柵の設置		
D	信号待ち時の車の衝突対策	車止めの設置	交差点改良のため、公安委員会へ意見照会中	
	芦屋橋北の歩道が一部狭い	歩道の拡幅		
	迂回によって歩行者の通行量が増加	信号待ち時の溜まり場拡幅		
E	見通しが悪い	親柱及び高欄の改修		
	歩道が一部急勾配	歩道舗装の改修		

※対策内容については、細かい変更がある場合があります。

7. 今後のスケジュール

【今後のスケジュール】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
第一跨線橋		● 工事協定	● 通行止	→ 跨線橋 撤去工事			● 用地整理
関連事業	→ 迂回路 対策設計	→ 迂回路 対策工事					→ 自転車 駐車場 工事

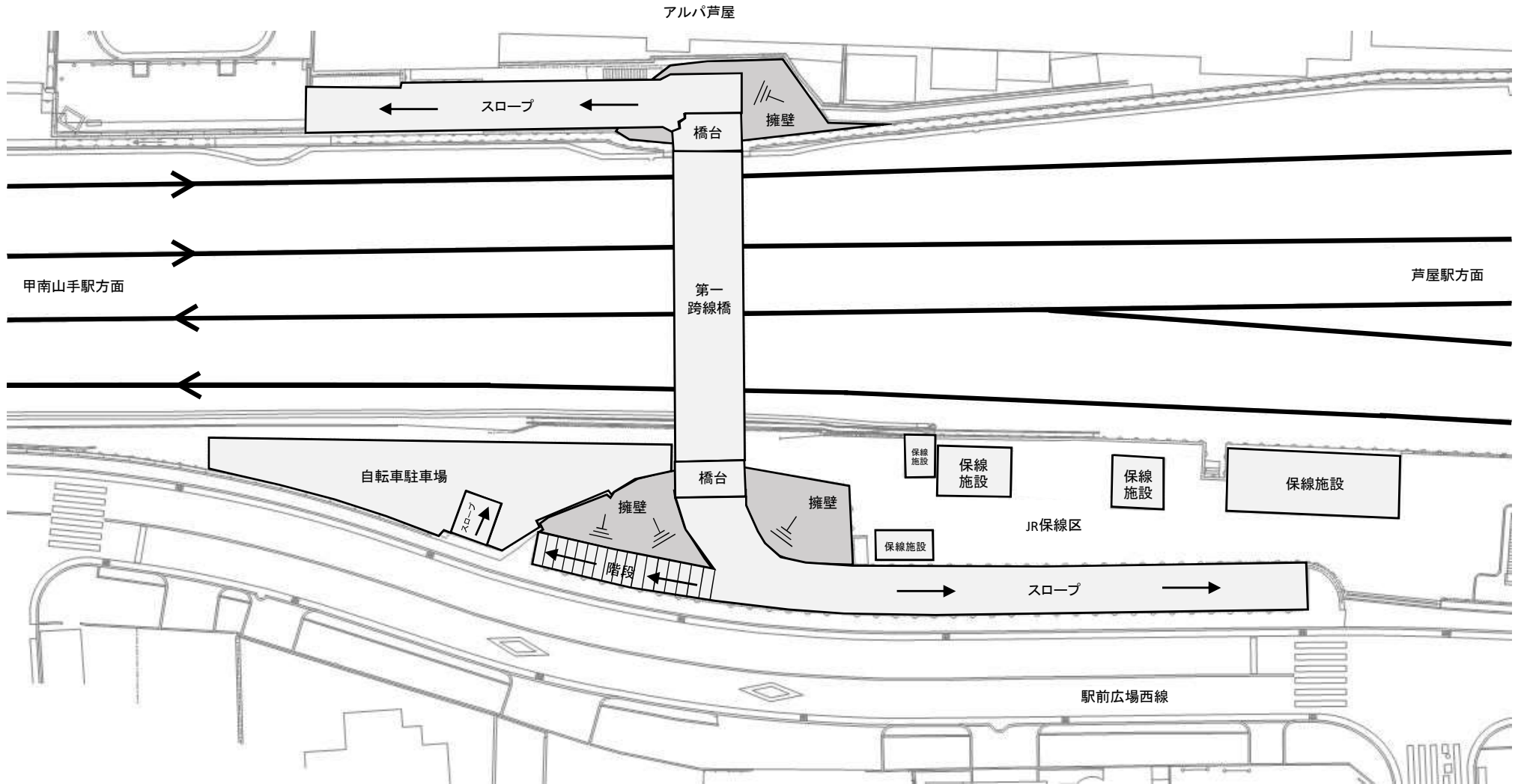
西日本旅客鉄道(株)との協議により、令和5年6月末に工事協定を締結し、**工事の着工は令和6年8月頃**となる見込みであり、工事の着工に合わせて第一跨線橋は**通行止め**となる。

工事の完了は令和10年3月末となる見込み。

工事完了後、第一跨線橋跡地及び周辺の用地を整理し、令和11年4月の供用開始に向けて自転車駐車を拡大する。

8. 第一跨線橋撤去 事業ステップ

現 況

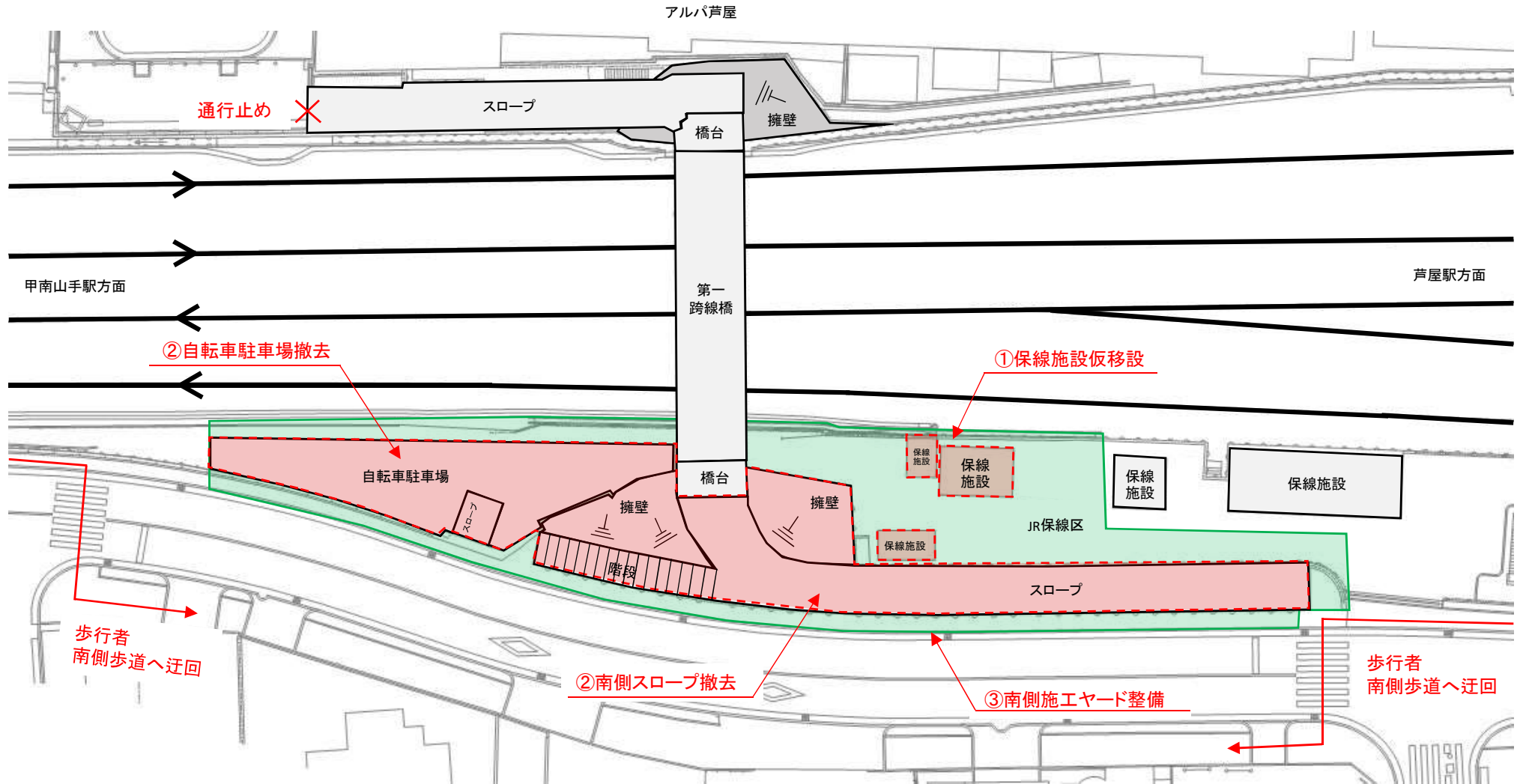


ステップ 1

・建築工事:保線施設仮移設

・土木工事:南側施工ヤード整備、南側スロープ撤去(擁壁等)、自転車駐車場撤去

- ①施工ヤード整備のため、対象保線施設を仮移設します。
- ②南側スロープ・自転車駐車場を撤去します。
- ③南側施工ヤードを整備します。

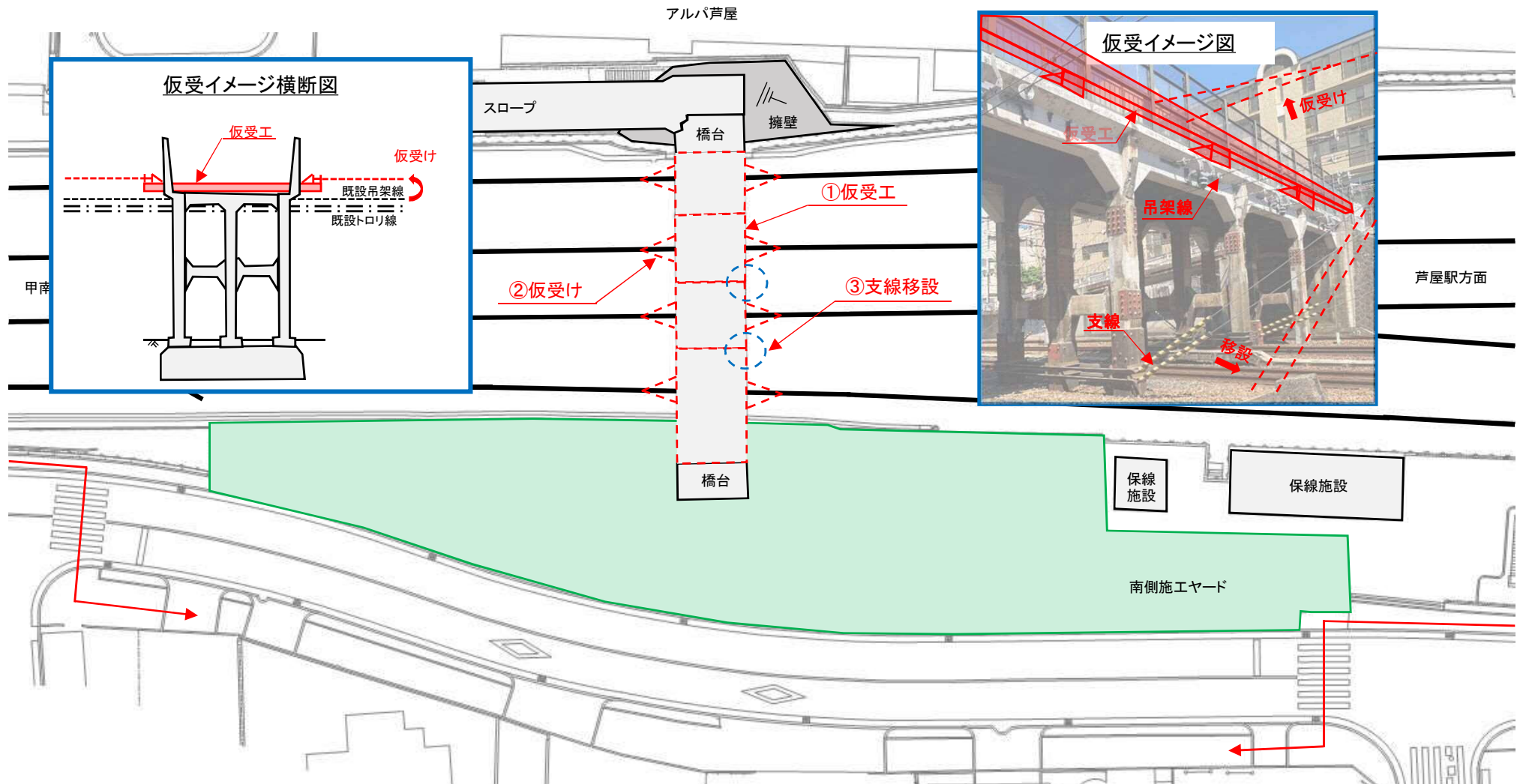


ステップ 2

・土木工事: 吊架線仮受工

・電気工事: 吊架線仮受け・支線移設

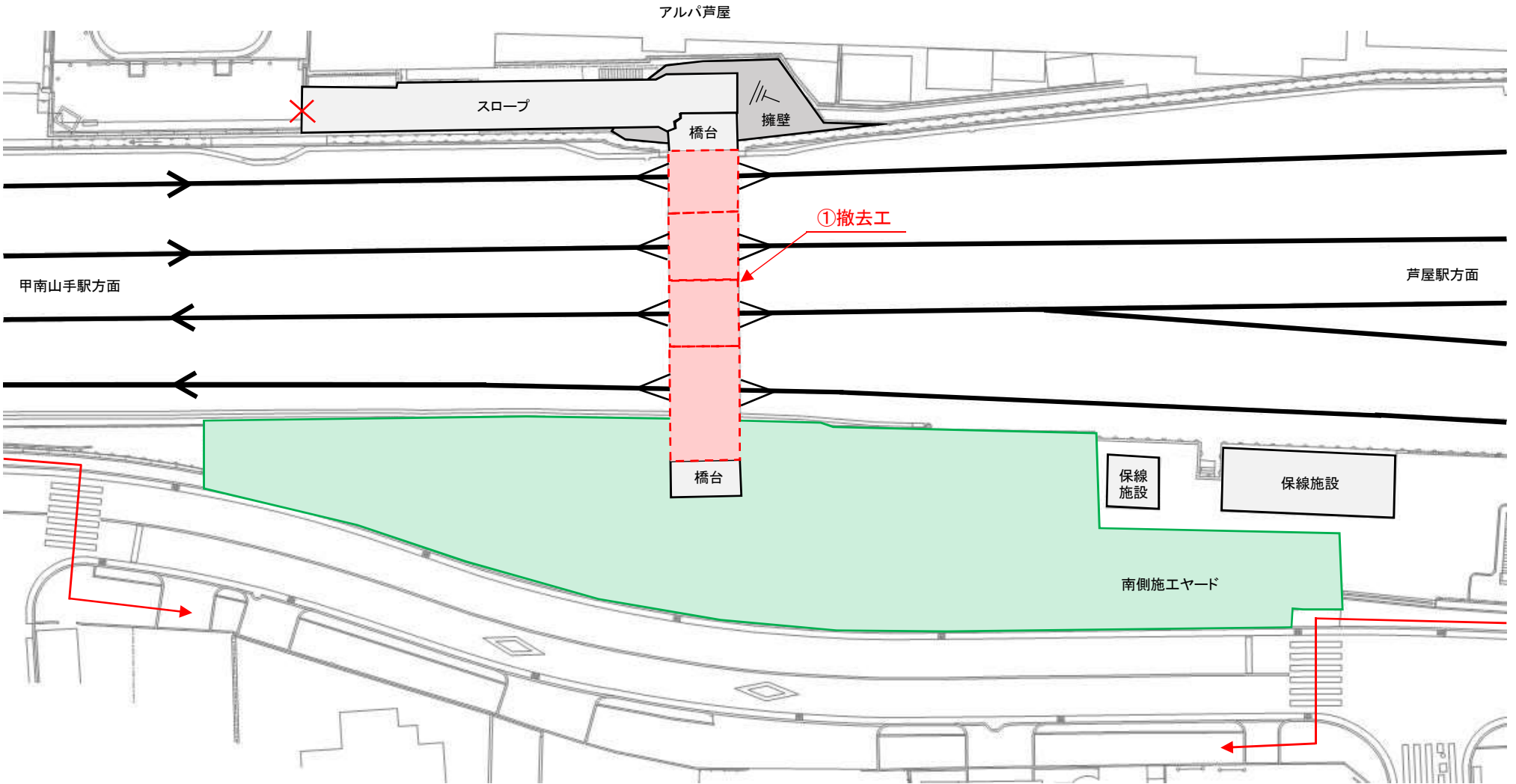
- ①吊架線が跨線橋に引留めされているため、土木工事で仮受けできる梁を設置します。(仮受工)
- ②吊架線を仮受けします。
- ③一部の橋脚に接続されている電車線柱の支線を移設します。



ステップ 3

・土木工事:高欄・舗装・床版等撤去

①吊架線を仮受け後、北側から順に高欄・舗装・床版等を撤去します。

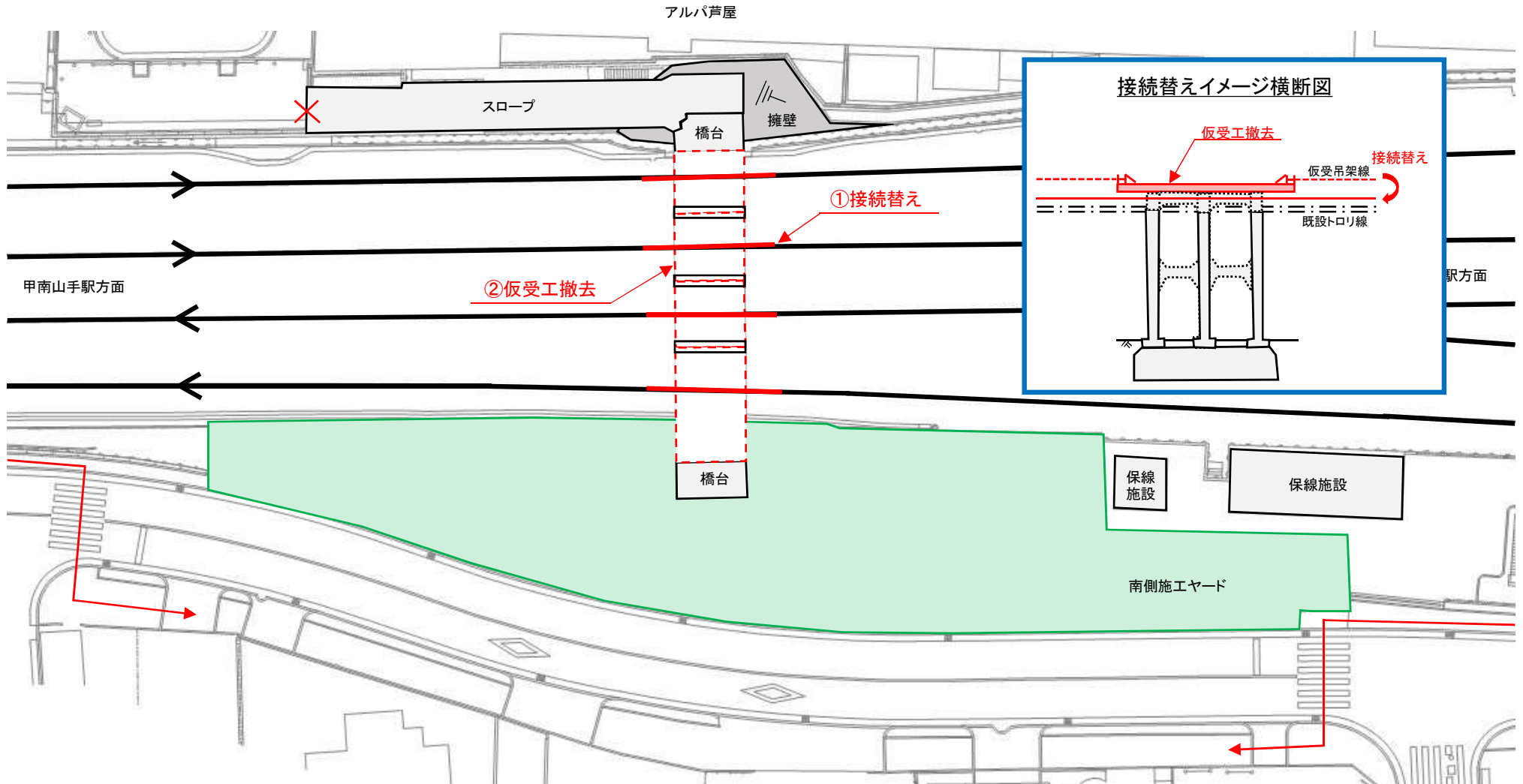


ステップ 4

・電気工事: 吊架線接続替え等

・土木工事: 仮受工撤去

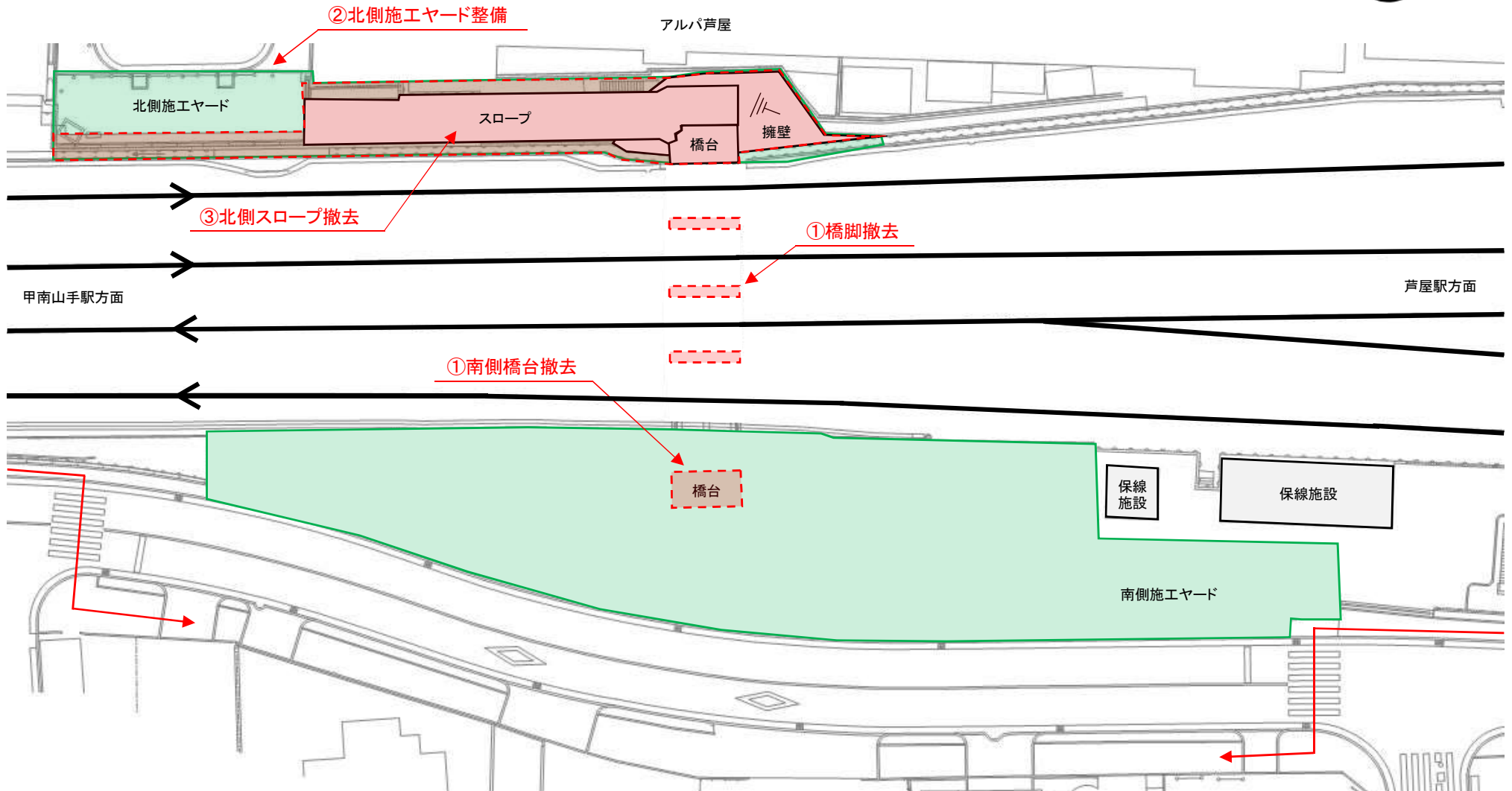
- ① 仮受梁から吊架線を本来の高さ位置で接続替えします。
- ② 仮受工を撤去します。



ステップ 5

・土木工事:橋脚・南側橋台撤去、北側施工ヤード整備、北側スロープ撤去(擁壁等)

- ①橋脚・南側橋台を撤去します。
- ②北側施工ヤードを整備します。
- ③北側スロープを撤去します。

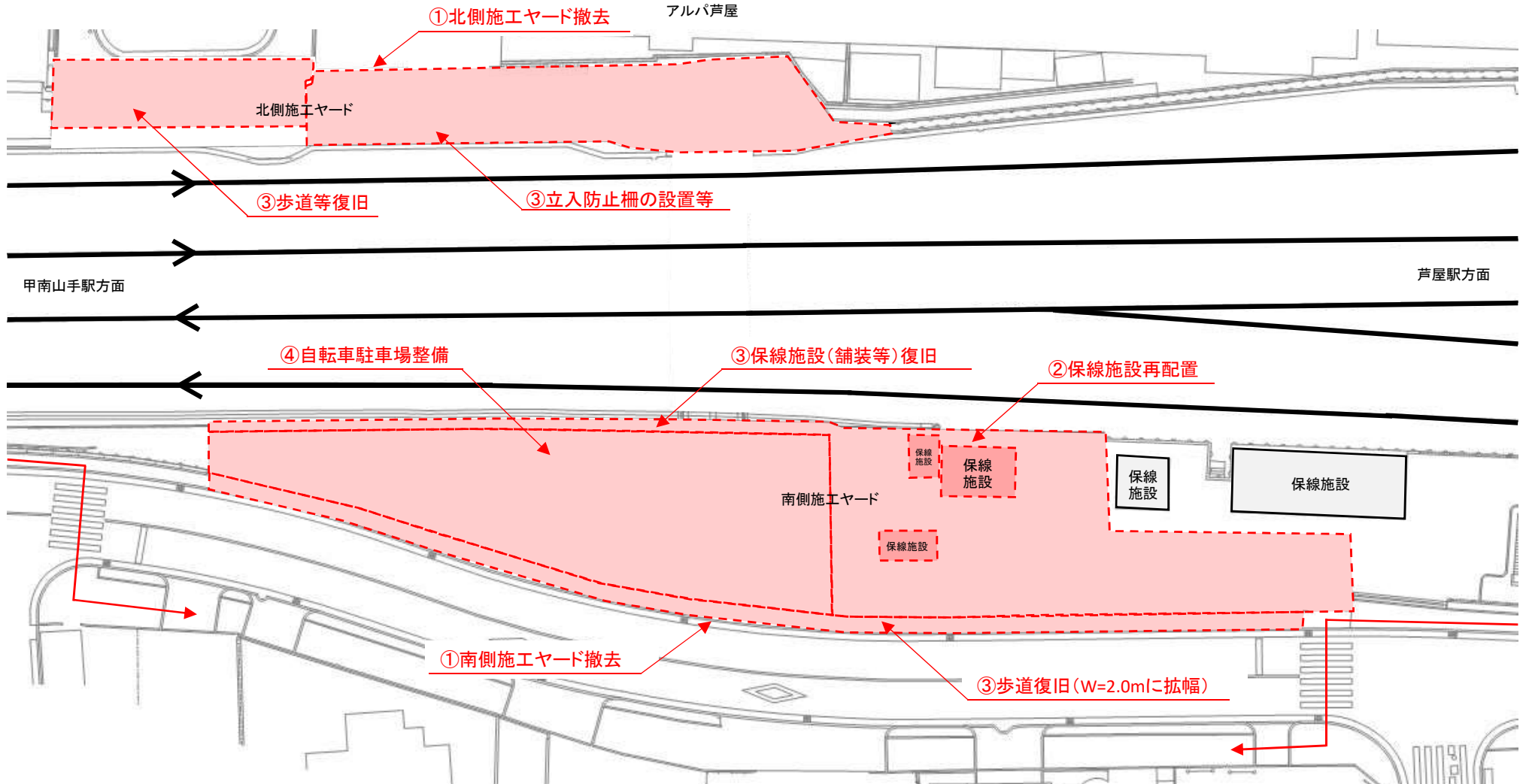


ステップ 6

・建築工事: 保線施設再配置

・土木工事: 北側・南側施工ヤード撤去、立入防止柵設置、歩道等復旧

- ①北側・南側の施工ヤードを撤去します。
- ②仮移設した保線施設を再配置します。
- ③線路への立入防止柵・擁壁の設置や、歩道等の復旧を行います。
- ④自転車駐車を整備します。



完了



アルパ芦屋

市有地(立入禁止)

甲南山手駅方面

芦屋駅方面

自転車駐車場

保線施設

保線施設

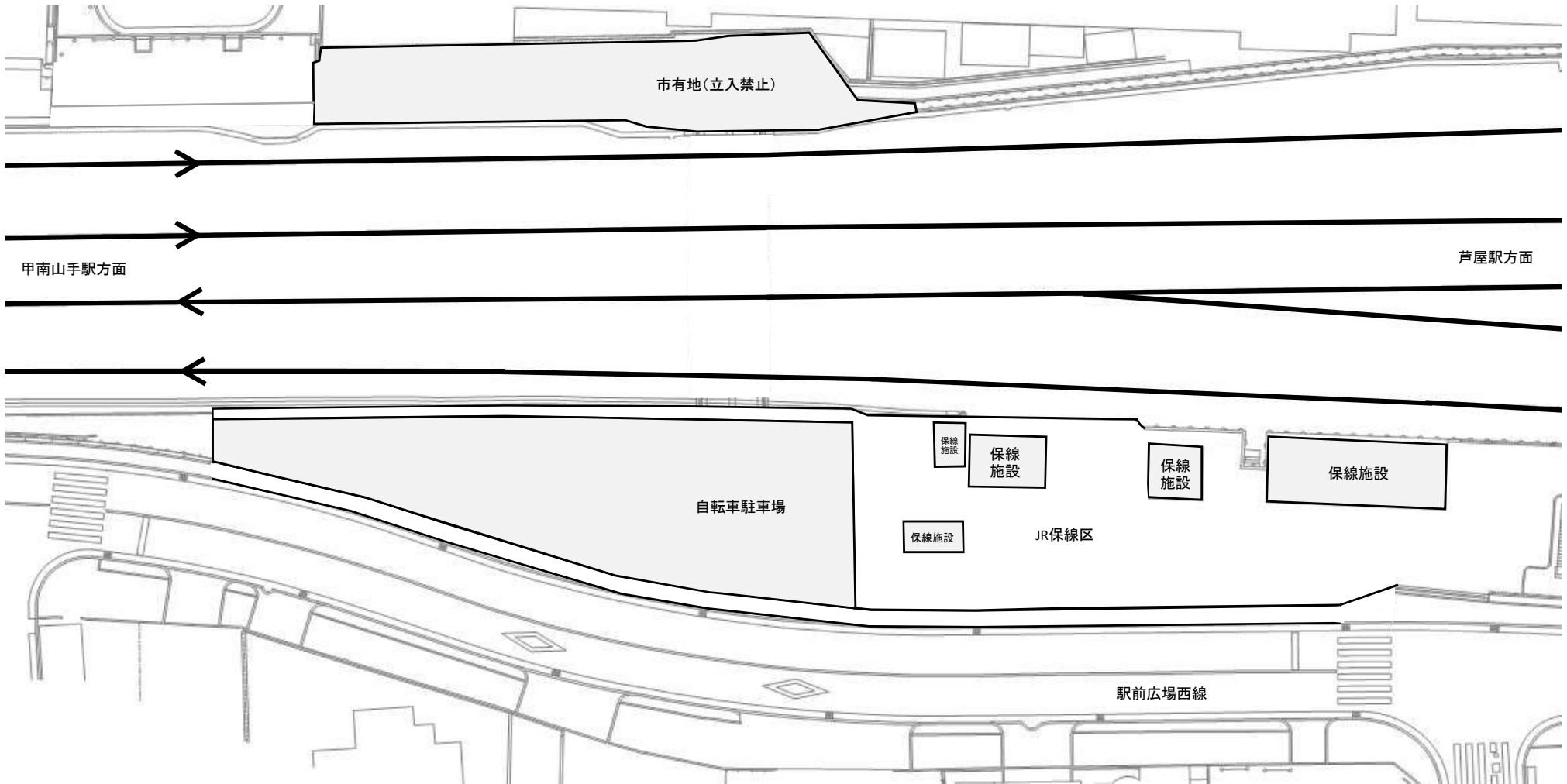
保線施設

保線施設

保線施設

JR保線区

駅前広場西線



○問い合わせ先

芦屋市 都市建設部 道路・公園課 工事係

TEL 0797-38-2116 FAX 0797-38-2163

E-Mail douro@city.ashiya.lg.jp

○芦屋市ホームページ

説明会の資料、議事概要は後日、芦屋市ホームページに掲載いたします。

URL <https://www.city.ashiya.lg.jp/douro/daitikosennkyou.html>

芦屋市HP > まちづくり > 道路



> 道路の情報 > 第一跨線橋の老朽化に伴う撤去について

7 過去及び今後の説明会開催状況

開催累計 (回)	開催日	会場	参加人数	説明会資料・議事要旨
1	1. 令和3年3月21日(日曜日) 2. 令和3年3月22日(月曜日)	芦屋市民センター (市民会館) 401室	1. 19人 2. 17人	<ul style="list-style-type: none"> ○ 説明会資料 (PDF1,672KB) ○ 議事要旨 (PDF180KB)
2	令和3年11月6日(土曜日)	芦屋市民センター (市民会館) 401室 及び オンライン	24人	<ul style="list-style-type: none"> ○ 説明会資料 (PDF2,246KB) ○ 議事要旨 (PDF226KB) ○ 対策比較表 (PDF424KB)
3	令和4年3月19日(土曜日)	芦屋市民センター (市民会館) 301室 及び オンライン	19人	<ul style="list-style-type: none"> ○ 説明会資料 (PDF8,017KB) ○ 議事要旨 (PDF122KB)
4	令和5年3月18日(土曜日)	芦屋市民センター (市民会館) 301室 及び オンライン		

《QRコード》

